

# 消防年報



三重県  
菰野町消防本部  
(令和元年版)

# はじめに

本書は、菰野町における消防情勢と、平成30年中における消防諸般の状況を記録し、将来の消防行政運営上の指針とするため編集しました。

なお、統計資料は特に記載のあるものを除き、平成30年中をもって表しました。

令和元年 8月

三重県 こものちょう 菰野町消防本部

# 目 次

## 消 防 情 勢

菰野町の概要、位置図	1
菰野消防のあゆみ	2
歴代消防長	5
平成 30 年中の主な行事	6
消防本部、消防署の組織、機構及び事務分掌	7
消防予算	8
一般会計予算に占める消防費の割合	
消防費に対する人口、世帯当り額	
消防力の整備指針と現有消防力の比較	9
職員階級別、所属別配置状況	10
職員階級別勤続年数状況	
職員階級別年齢状況	11
消防本部（署）庁舎の概要	12
現有消防車両	
通信施設状況	13
消防水利状況	14
各種研修実施状況	
外部研修等派遣状況	15
応急手当普及啓発活動実施状況	16
自主防災組織	17
緊急避難所	18
風水害時における緊急避難所を補完する施設	19
収容避難所	
収容避難所を補完する施設	20

## 消 防 団

菰野町消防団の沿革	21
歴代消防団長（合併以降）	
消防団の機構、団員数	22
年齢別及び階級別消防団員数	23
在職年数別消防団員数	
消防団員報酬	
消防団員各種手当	
消防団員職業別構成表	24
消防団消防車両配置状況	

## 予 防

防火対象物現況	25
用途別建築同意状況	26
工事別建築同意状況	27
過去5年間の建築同意状況	
危険物施設現況	28
危険物施設許可認可状況	
各種届出処理状況	29
消防用設備等設置検査実施状況	
広報、啓発活動状況	30

## 火 災

火災発生状況	31
過去5年間の火災発生状況	
地区別火災発生状況	32
月別火災発生状況	
曜日別火災発生状況	
時間別火災発生状況	33
火災出動状況	
火災出動区分詳細	
火災発生状況及び出火原因状況	34
絵で見る火災原因	36

## 救 急、救 助

救急事故発生状況	37
過去5年間の救急事故発生状況	
事故種別救急出動件数・搬送人員	38
現場到着所要時間別救急件数	
収容所要時間別救急搬送人員	
年齢区分別救急搬送人員	39
傷病程度別救急搬送人員	
時間別救急出動件数	
地区別救急出動状況	40
月別救急出動状況	
曜日別救急出動状況	
年齢区分別、傷病程度別救急搬送人員	41
事故種別、年齢区分別救急搬送人員	
事故種別、傷病程度別救急搬送人員	
事故種別、時間別救急出動件数	42
事故種別、応急処置件数	
事故種別、医療機関別救急搬送人員	43
救助出動状況	44
事故種別出動件数・救助人員	50
事故種別、救助出動人員	
事故種別、救助出動車両	

## 気 象、通 信、その他

月別気象状況と火災件数	51
月別気温概況	52
月別降水量概況	
月別湿度概況	53
月別風速概況	
気象通報受信状況	54
三重北消防指令センター119番通報受付取扱状況	55
菰野町消防本部管内月別119番通報受付取扱状況	
菰野町消防本部管内回線別119番通報受付取扱状況	
災害件数の推移	56

# 消防情勢



菰野町には数多くの事業所があり、危険物をはじめ火災発生時に消火が困難となる物質を取り扱っている場合があります。  
これらの事業所の保安体制の強化と特殊な消火方法の確立並びに町民への意識啓発を目的に特別消防訓練を実施しました。

危険物安全週間に伴う特別消防訓練

平成30年5月28日  
於：国光カーボン工業株式会社

## 菰野町の概要、位置図

菰野町は、三重県の北西部に位置し、西は鈴鹿山脈を境に滋賀県と接し、北はいなべ市に、東と南は四日市市に隣接している。

町の約3分の1を占める山岳地帯は、鈴鹿国定公園に指定されており、御在所岳、釈迦ヶ岳、鎌ヶ岳などは、多くのアルピニストに親しまれ、近年では登山ブームにより老若男女を問わず、人気を集めるスポットである。

さらに霊山幽谷に出で湯を持つ湯の山温泉や雄大な眺めとスリルに富んだ御在所ロープウェイ、景勝を織りなす溪谷の数々、緑豊かな丘陵地など、菰野町は鈴鹿国定公園の玄関口としてふさわしい。

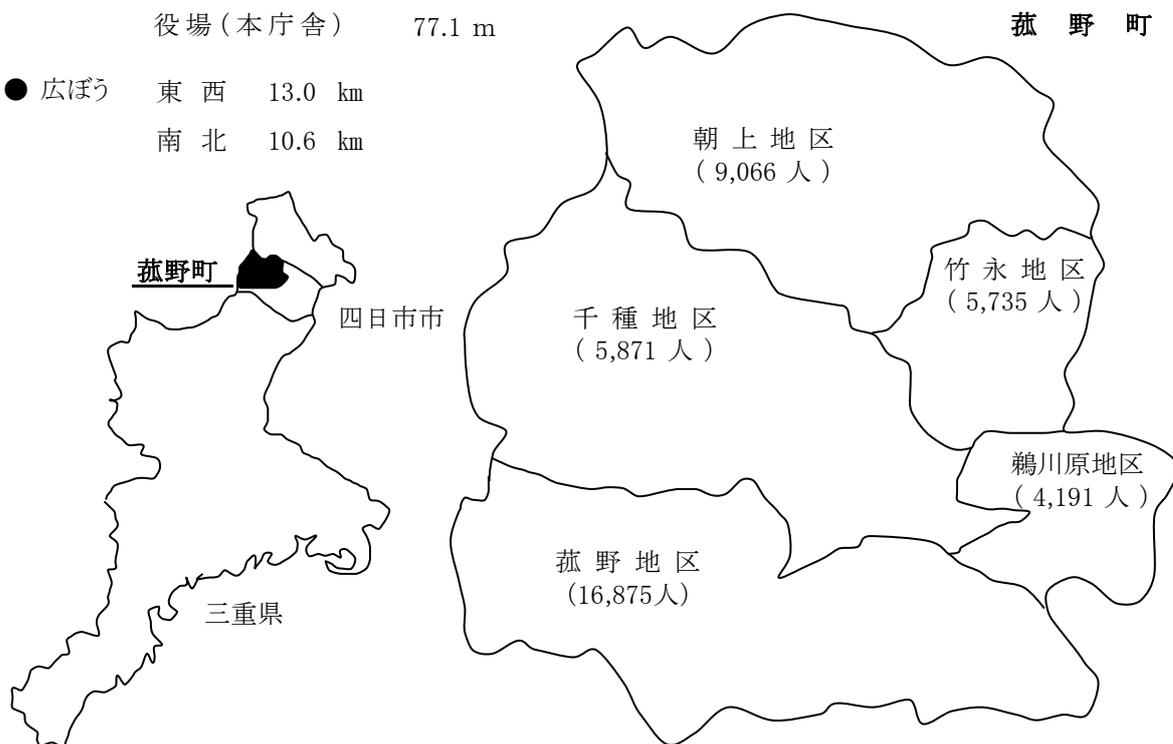
菰野町では、目指すべき将来像を「自然の中に人々が集う、笑顔と活力のまち 菰野」をスローガンに掲げ、町民の安全安心への思いや、絆を大切にしながら、自然との調和を基盤とした町づくりを推進している。

● 位置 / 北緯 35° 01' 43" (世界測地) ● 人口 / 41,738 人  
東経 136° 30' 25" (平成31.3.31現在)

● 面積 / 107.28 km<sup>2</sup> ● 世帯数 / 16,461 世帯  
(平成31.3.31現在)

● 海拔 / 御在所岳 1,212 m (最高地)  
役場(本庁舎) 77.1 m

● 広ぼう 東西 13.0 km  
南北 10.6 km



# 菰野消防のあゆみ

## 昭和58年(1983)

9. 30 町議会に常備消防特別委員会設置。

## 昭和59年(1984)

3. 5 自治省消防庁より昭和59年度における消防本部及び消防署義務設置町村政令指定（内定）を受ける。
7. 19 消防庁舎建設工事着工。
8. 24 日本消防協会より救急車（2 B型）の寄贈を受ける。
10. 21 役場庁舎において救急業務開始。（総務課消防防災係16名）

## 昭和60年(1985)

1. 31 消防庁舎完成。（コミュニティ防災センターを併設）
2. 14 消防庁舎において試行業務開始。
- ※ 4. 1 **菰野町消防本部・消防署発足。**  
消防本部に消防課、予防課を置き、消防署に警防課を置く。  
定数31名 車両5台
4. 2 消防庁舎竣工式及び開署式。

## 昭和61年(1986)

3. 25 ポンプ車（CD-I型）購入。
11. 19 普通貨物自動車購入。

## 昭和62年(1987)

2. 26 はしご車（30m級）購入。
10. 14 （社）日本損害保険協会より救助工作車の寄贈を受ける。
10. 28 広報車購入。

## 昭和63年(1988)

4. 12 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
4. 21 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
7. 27 消防救助技術東海地区指導会水上の部（溺者救助）にて入賞。
8. 19 全国消防救助技術大会水上の部（溺者救助）にて入賞。

## 平成元年(1989)

1. 24 救急車（2 B型）購入。
4. 18 菰野ライオンズクラブより広報車の寄贈を受ける。

## 平成2年(1990)

8. 2 消防救助技術東海地区指導会水上の部（溺者救助）にて入賞。
8. 24 全国消防救助技術大会水上の部（溺者救助）にて入賞。

## 平成4年(1992)

4. 10 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
4. 23 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。

平成5年(1993)

12. 24 訓練塔敷地造成工事開始。

平成6年(1994)

4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正。（定数33名）  
4. 8 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。  
4. 27 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。

平成7年(1995)

2. 16 水槽付ポンプ車（水－I A型）購入。  
3. 18 訓練塔竣工式。  
12. 22 消毒室完成。

平成8年(1996)

3. 18 （社）日本損害保険協会より高規格救急車の寄贈を受ける。  
4. 22 緊急消防援助隊旗の伝達を受ける。  
12. 13 指令車購入。  
12. 20 菰野町職員定数条例（消防職員）改正。（定数40名）

平成9年(1997)

4. 1 菰野町防災行政無線による広報を開始。  
5. 15 救急救命士が誕生。

平成10年(1998)

2. 4 ポンプ車（CD－I型）購入。  
4. 1 救急救命士業務の運用を開始。  
10. 15 携帯電話による119番通報受信業務を開始。  
11. 24 積載車購入。

平成11年(1999)

1. 21 広報車購入。  
6. 2 救急救命士24時間体制開始。  
7. 27 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞。  
8. 19 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）に出場。

平成12年(2000)

4. 14 三重県消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。  
4. 20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。

平成13年(2001)

3. 7 高規格救急車購入。  
3. 10 新通信指令室の運用を開始。

平成14年(2002)

4. 1 消防吏員服制規則改正。

平成15年(2003)

- 8. 27 全国優良消防職員表彰受賞。
- 12. 6 救急医療功労者知事表彰受賞。

平成16年(2004)

- 4. 1 三重県防災航空隊へ職員1名を派遣。(3年間)
- 9. 3~4 三重県緊急消防援助隊野営訓練及び合同訓練を菰野町で実施。

平成17年(2005)

- 8. 3 救急救命士1名が気管内挿管講習及び実習修了。
- 8. 8 携帯119番直接受信開始。
- 10. 1 三重県内消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結。

平成18年(2006)

- 2. 22 高規格救急車購入。
- 7. 13 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了。

平成19年(2007)

- 1. 30 水槽付ポンプ車(水-I A型)購入。
- 7. 25 消防救助技術東海地区指導会陸上の部(ロープブリッジ渡過)にて入賞。
- 8. 22 全国消防救助技術大会陸上の部(ロープブリッジ渡過)にて入賞。

平成20年(2008)

- 3. 9 救急救命士3名が薬剤投与追加講習及び実習修了。
- 3. 14 救助工作車(II型)購入。
- 4. 11 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4. 17 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 8. 28 全国優良消防職員表彰受賞。
- 12. 12 指揮車購入。

平成21年(2009)

- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣。(3年間)
- 6. 25 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了。
- 8. 1 Eメール119番通報の運用開始。
- 11. 30 耐震性貯水槽第1号が完成。

平成22年(2010)

- 4. 9 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4. 16 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 12. 2 高規格救急車購入。

平成23年(2011)

- 4. 27 火災時における消防活動業務の協力に関する協定を締結。

#### 平成24年(2012)

- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正。（定数46名）
- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣。（3年間）
- 4.13 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4.20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 8. 1 位置情報通知システム（統合型）導入。
- 12.27 広報車購入。

#### 平成25年(2013)

- 8.21 全国優良消防職員表彰受賞。
- 11.18 救急医療功労者知事表彰受賞。

#### 平成26年(2014)

- 3.24 はしご車（先端屈折式 30m級）購入。
- 12. 5 ポンプ車（CD-I型CAFS付）購入。

#### 平成27年(2015)

- 1.31 資機材搬送車購入。
- 4. 1 救命サポート事業開始。
- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正。（定数58名）
- 8.26 消防支援隊発足。（35名）
- 11.26 高規格救急車購入。

#### 平成28年(2016)

- 4. 1 三重北消防指令センター運用開始。
- 4. 1 三重県防災航空隊へ職員1名を派遣。（3年間）
- 7.26 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞。
- 8.24 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞。

#### 平成29年(2017)

- 3. 8 消防庁長官表彰永年勤続功労章受章。
- 11.28 高規格救急車購入。

#### 平成30年(2018)

- 3. 7 消防庁長官表彰功労章受章。

## 歴代消防長

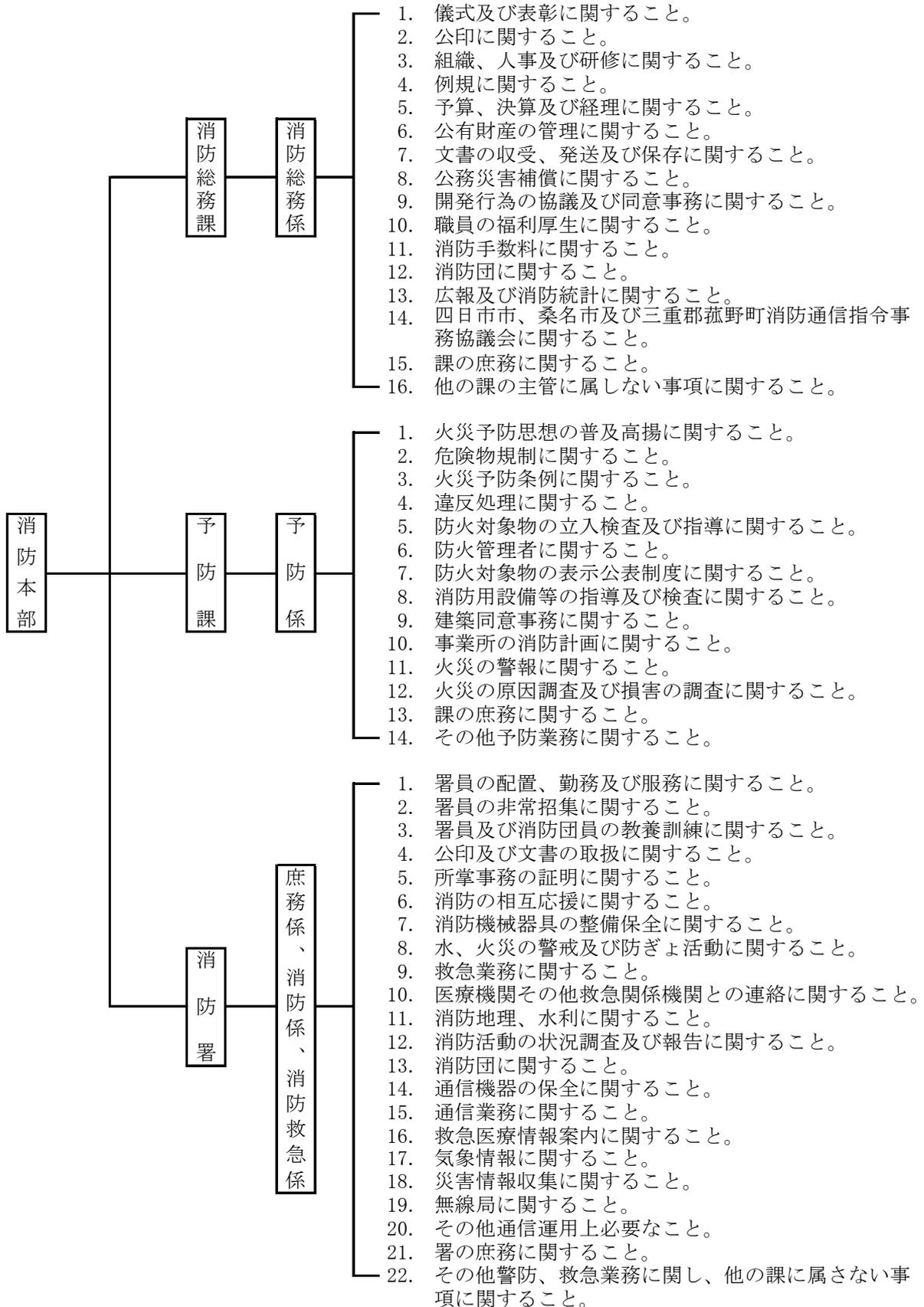
初代	大倉 二郎	自	昭和60年 4月 1日	至	昭和61年 3月31日
二代	田邊 正男	自	昭和61年 4月 1日	至	平成 3年 3月31日
三代	藤田 徹	自	平成 3年 4月 1日	至	平成 7年 3月31日
四代	石原 俊秀	自	平成 7年 4月 1日	至	平成11年 3月31日
五代	内田 芳隆	自	平成11年 4月 1日	至	平成13年 3月31日
六代	金津 正義	自	平成13年 4月 1日	至	平成16年 3月31日
七代	秦 隆	自	平成16年 4月 1日	至	平成18年 4月27日
八代	増田 幸生	自	平成18年 5月 1日	至	平成19年 3月31日
九代	川嶋 正典	自	平成19年 4月 1日	至	平成21年 3月31日
十代	内田 眞伸	自	平成21年 4月 1日	至	平成25年 3月31日
十一代	白木 康裕	自	平成25年 4月 1日	至	平成30年 3月31日
十二代	吉川 澄	自	平成30年 4月 1日		現在に至る

## 平成30年中の主な行事

- |               |                                |
|---------------|--------------------------------|
| 1. 14         | 消防出初式                          |
| 1. 26         | 文化財防火運動に伴う特別消防訓練〔禅林寺〕          |
| 2. 25         | 防火広報〔町内一円〕                     |
| 2. 27         | 春の火災予防運動に伴う特別消防訓練〔ケアハウス白百合ハイツ〕 |
| 4. 1          | 消防辞令交付式〔農村センター体育館〕             |
| 5. 22         | 菰野町防火協会理事会総会〔農村センター研修室〕        |
| 5. 27         | 菰野町水防訓練〔菰野町役場南 三滝川河川敷〕         |
| 5. 28         | 危険物安全週間に伴う特別消防訓練〔国光カーボン工業株式会社〕 |
| 6. 3～6. 9     | 危険物安全週間                        |
| 6. 24         | 菰野町消防団操法大会〔菰野町役場北駐車場〕          |
| 8. 26         | 菰野町総合防災訓練〔町内一円〕                |
| 8. 30～9. 5    | 防災週間                           |
| 9. 4～9. 10    | 救急医療週間                         |
| 9. 6          | 防災週間に伴う特別消防訓練〔彩向陽〕             |
| 10. 25        | 集団救急救護訓練〔消防本部〕                 |
| 10. 30        | 三重県消防職員警防技術交換会〔三重県消防学校〕        |
| 11. 9～11. 15  | 秋の火災予防運動                       |
| 11. 11        | 秋の火災予防運動に伴う特別消防訓練〔三重県民の森〕      |
| 12. 28～12. 31 | 年末特別警戒〔町内一円〕                   |

# 消防本部、消防署の組織、機構及び事務分掌

平成31. 4. 1現在



## 消防予算(当初額)

(千円)

年度 \ 区分	常備消防費	非常備消防費	消防施設費	水防費	合計
平成27年度	444,465	42,957	259,525	65	747,012
平成28年度	470,568	39,298	47,989	50	557,905
平成29年度	491,685	43,527	57,285	50	592,547
平成30年度	500,483	42,052	16,768	50	559,353
令和元年度	498,958	40,829	88,139	50	627,976

## 一般会計予算に占める消防費の割合(当初額)

年度 \ 区分	一般会計予算 (千円)	消防予算 (千円)	比率(%)
平成27年度	12,210,000	747,012	6.1
平成28年度	13,860,000	557,905	4.0
平成29年度	13,220,000	592,547	4.5
平成30年度	12,810,000	559,353	4.4
令和元年度	12,870,000	627,976	4.9

## 消防費に対する人口、世帯当り額

年度 \ 区分	人口(人)	世帯(戸)	消防費(千円)	人口1人当りの 消防費(千円)	1世帯当りの消防 費(千円)
平成27年度	41,419	15,636	747,012	18	48
平成28年度	41,540	15,828	557,905	13	35
平成29年度	41,803	16,089	592,547	14	37
平成30年度	41,820	16,284	559,353	13	34
令和元年度	41,738	16,461	627,976	15	38

# 消防力の整備指針と現有消防力の比較

(台)

車 両	消防力の整備指針による基準車両	基準数	現 有 車 両	現有数	比 較
	消 防 ポンプ自動車	2	水槽付消防ポンプ自動車 消 防 ポンプ自動車	2	0
	はしご付き消防自動車	1	はしご付き消防自動車	1	0
	化 学 消 防 自 動 車	1		0	△ 1
	救 急 自 動 車	3	高規格救急自動車(1) 高規格救急自動車(2) 高規格救急自動車(3)	3	0
	救 助 工 作 車	1	救 助 工 作 車	1	0
	指 揮 車	1	指 揮 車	1	0
	計	9	計	8	△ 1

(人)

人 員	消防力の整備指針による区分別算定		基準数	現有数	比 較	
	警 防 要 員	消防ポンプ自動車(1)	5人×3部制=15人	60	40	△ 20
		消防ポンプ自動車(2)	4人×3部制=12人			
		救 助 工 作 車	5人×3部制=15人			
		救 急 自 動 車 (1)	3人×3部制= 9人			
		指 揮 車	3人×3部制= 9人			
		救 急 自 動 車 (2) 救 急 自 動 車 (3)	( 兼 務 運 用 )			
		はしご付き消防自動車	( 乗 換 運 用 )			
		化学消防自動車【未配備】				
	通 信 員		3	3	0	
予 防 要 員		5	5	0		
そ の 他 の 人 員		5	4	△ 1		
合 計			73	52	△ 21	

平成31.4.1現在

## 職員階級別、所属別配置状況

平成31. 4. 1現在

所属 \ 階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
消防長・消防総務課	1	2	3		1		7
予防課		1	1	3			5
消防署		4	14	5	4	13	40
合計	1	7	18	8	5	13	52

## 職員階級別勤続年数状況

平成31. 4. 1現在

勤続年数 \ 階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
1年未満							
1年						6	6
2年						2	2
3年						2	2
4年						2	2
5年					1		1
6年				1	1	1	3
7年							
8年					1		1
9年							
10年					1		1
11年				1			1
12年					1		1
13年				1			1
14年							
15年				2			2
16年							
17年				1			1
18年		1	1	1			3
19年							
20年			2				2
21年			2				2
22年			3				3
23年							
24年							
25年			5				5
26年			1				1
27年			1				1
28年							
29年			1				1
30年							
31年		1	1				2
32年							
33年							
34年	1	5	1	1			8
合計	1	7	18	8	5	13	52

# 職員階級別年齢状況

平成31. 4. 1現在

年 齢	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	合 計
18歳							
19歳						1	1
20歳						1	1
21歳						1	1
22歳							
23歳						3	3
24歳						4	4
25歳							
26歳						1	1
27歳					1	1	2
28歳					1	1	2
29歳					1		1
30歳					2		2
31歳							
32歳				2			2
33歳				2			2
34歳							
35歳							
36歳				1			1
37歳				2			2
38歳			1				1
39歳							
40歳			1				1
41歳			1				1
42歳			1				1
43歳			3				3
44歳			2				2
45歳			1				1
46歳			2				2
47歳			2				2
48歳							
49歳			2				2
50歳			1				1
51歳							
52歳							
53歳							
54歳		6					6
55歳							
56歳							
57歳							
58歳	1	1	1				3
59歳							
60歳							
61歳				1			1
合 計	1	7	18	8	5	13	52

平均年齢 38.6 歳

## 消防本部(署)庁舎の概要

平成31. 4. 1現在

所在地	三重県三重郡菰野町大字潤田4418番地 (敷地面積:6,226.17㎡)				
区分	庁舎	仮設庁舎	訓練棟		
	消防署	消防本部	主塔	副塔	倉庫棟
建設年	昭和60年竣工	平成26年竣工	平成7年竣工	平成7年竣工	平成7年竣工
構造	RC2階建	鉄骨2階建	RC4階建	鉄骨3階建	鉄骨2階建
建築面積	537.7㎡	114.4㎡	39.4㎡	38.6㎡	87.6㎡
延床面積	858.4㎡	226.8㎡	129.6㎡	94.3㎡	175.2㎡
1 F	528.1㎡	113.4㎡	32.4㎡	32.7㎡	87.6㎡
2 F	309.3㎡	113.4㎡	32.4㎡	32.7㎡	87.6㎡
3 F	(P.H)21.0㎡		32.4㎡	28.9㎡	
4 F			32.4㎡		

## 現有消防車両

平成31. 4. 1現在

車種	区分	車名	規格等	登録番号	登録年月日	排気量 (cc)	車両総重量 (kg)	免許区分
はしご車		日野	30m級	三重800は1877	H26. 3.19	8,860	19,120	大型
救助工作車		日野	II型	三重800は1347	H20. 3.13	7,680	11,470	大型
水槽付ポンプ車		日野	水-IA型	三重800は1184	H19. 1.29	6,400	9,390	中型
ポンプ車		日野	CD-I型 (CAFS付)	三重800せ 6	H26.12. 4	4,000	6,755	準中型
救急1号車		日産	高規格	三重830す1711	H29.11.17	3,490	3,295	普通
救急2号車		日産	高規格	三重830せ1511	H27.11.17	3,490	3,265	普通
救急3号車		日産	高規格	三重800す7167	H22.12. 2	3,490	3,235	普通
査察車		トヨタ	ワゴン	三重800す5463	H20.12.11	1,980	2,100	普通
広報車		トヨタ	ワゴン	三重800す8616	H24.12.27	2,690	2,670	普通
資機材搬送車		いすゞ	2t積	三重800せ 127	H27. 1.29	2,990	4,905	準中型

# 通信施設状況

平成31. 4. 1現在

	種類	数量	備考
菺野町消防本部、 消防署	車載移動無線局 (デジタル)	11局	菺野波1~2、四日市波1~4、桑名波1~3、統制波1~3 主運用波、消防団波 ※広域応援用：主運用波1~6
	携帯移動無線局 (デジタル)	15局	菺野波1~2、四日市波1~4、桑名波1~3、統制波1~3 主運用波、消防団波 ※広域応援用：主運用波1~6
	消防団車載移動無線局 (デジタル)	11局	菺野波2、消防団波
	消防団携帯移動無線局 (デジタル)	11局	菺野波2、消防団波
	半固定無線局 (デジタル)	4局	こもの200【卓上型】 こもの201【可搬型】 こもの202【卓上型】 こもの203【卓上型】 役場災害対策室設置 菺野波1~2、四日市波1~4、桑名波1~3、統制波1~3 主運用波、消防団波 ※広域応援用：主運用波1~6
	消防救急デジタル無線基地局 (活動波)	1局	活動波：みえきたしれいこもの(菺野波1~2) 【通信所】こものしょうぼう
	三重県消防救急デジタル無線基地局 共通波(菺野中継所)	1局	みえきょうつうこもの(主運用波、統制波1~3) 【通信所】こものしょうぼう
	三重県防災行政無線局	3局	衛星局、地上局、可搬型衛星地球局
	携帯移動無線局 (署活動用携帯型)	36局	こもの310~339、341~343、こもの300~302 署活1~2、消防団波
	デジタル簡易無線局 (携帯型)	15台	
	車両運用端末装置Ⅲ型 (AVM)	11台	ドコモFOMA回線
	F A X	1回線 2ch	一般用、福祉用
	A S Kメール発信システム	1式	「菺野町行政情報メール」と連動
	指令センター用内線電話機	1回線	三重北消防指令センター連絡用
	駆け付け通報装置	1回線	三重北消防指令センターへ直接通報用(玄関前に設置)
	一般加入電話	2回線 4ch	
	救急車積載携帯電話	6台	
	衛星携帯電話	2台	
	携帯電話	2台	本部1、署1
三重北消防指令センター	報知電話(119)	7回線 14ch	固定電話、携帯電話、IP電話
	順次指令装置	6回線 12ch	指令台連動
	消防テレフォンガイド	1回線 2ch	指令台連動 NTTテレトキーにより同時に5回線受信可能
	F A X 1 1 9	1台	
	指令メール	1式	火災指令メール
	Eメール119受信装置	2台	
	多言語三者間同時通訳システム	1回線	通訳センターを介した多言語三者間同時通訳

※三重北消防指令センターは菺野町消防本部、四日市市消防本部、桑名市消防本部が消防通信指令事務を共同運用しています。

## 消防水利状況

平成31. 4. 1現在

水 利		地 区	菰 野	鶉川原	竹 永	朝 上	千 種	合 計
消 火 栓	管 径 50 mm 以下		5		1		2	8
	管 径 75 mm		172	81	98	123	111	585
	管 径 100 mm		150	44	38	112	75	419
	管 径 150 mm 以上		160	62	36	85	82	425
	合 計		487	187	173	320	270	1,437
防 火 水 槽	容 量 20 m <sup>3</sup> 未 満		2		2	6	2	12
	容 量 20 m <sup>3</sup> 以上 40 m <sup>3</sup> 未 満		22	3	7	13	4	49
	容 量 40 m <sup>3</sup> 以 上		4	2	1	5	8	20
	耐 震 性 貯 水 槽 40 m <sup>3</sup>		7	1	1	2	2	13
	耐 震 性 貯 水 槽 100 m <sup>3</sup>		1	1	1	1	1	5
	プ ー ル		4	1	1	2	1	9
	合 計		40	8	13	29	18	108
自 然 水 利	河 川		53	17	11	73	62	216
	池		8	2	3	19	12	44
	合 計		61	19	14	92	74	260

## 各種研修実施状況

平成30年中

内 容	区 分	延 時 間	延 人 数	回 数
訓 育		24	88	9
地 理 及 び 水 利		134	266	64
火 災 予 防		143	241	73
消 防 操 法		36	173	22
勤 務 要 綱		53	139	29
消 防 行 動		19	108	24
消 防 戦 術		42	228	37
消 防 機 械		293	1,038	227
実 施 訓 練		1,205	4,532	784
訓 練 礼 式		29	158	12
救 急 学		1,398	1,244	387
体 育		57	2,505	313

# 外部研修等派遣状況

平成30年度

派遣	区分	科 目	期 間	人 員
	消防大学校	査察業務マネジメントコース	30. 5. 24～30. 5. 30	1
	三重県消防学校	初任科（第55期）救急科救急課程（第21期）	30. 4. 10～30. 12. 4	6
		予防科 危険物課程（第16期）	30. 8. 27～30. 8. 31	1
		救助科 救助課程（第28期）	30. 9. 10～30. 10. 12	1
		特別科 指揮課程（第6期）	30. 12. 10～30. 12. 14	1
		警防科 警防課程（第30期）	31. 1. 21～31. 2. 1	1
	救 急	日本臨床救急医学会学術集会	30. 6. 1～30. 6. 2	1
		I C L S（心肺蘇生二次救命処置研修）	30. 6. 2	1
		J P T E Cプロバイダー更新コース	30. 9. 23	3
		P C E Cコース	30. 9. 14	2
		四日市市消防本部救急講習会	30. 9. 13	3
		I S L S三重コース	31. 1. 26	1
		三重県救急救命統合コース（第1回M I E L S）	30. 10. 21	3
		救急コ・メディカルセミナー	30. 10. 19	3
		四日市救急隊員発表会	30. 11. 6	4
		三重県救急救命士指導者セミナー	31. 1. 12	1
		惨事ストレスの理解と予防研修	31. 1. 16～31. 1. 17	1
		全国救急隊員シンポジウム	31. 1. 24～31. 1. 25	1
		救急医学会中部地方会学術集会	30. 12. 8	1
		M C L S（多数傷病者対応研修）	30. 8. 11～30. 8. 12	2
		新生児蘇生法講習会	31. 2. 22	2
	救 助	アリゾナボーテックスフレーム講習	30. 5. 29～30. 5. 30	2
		第21回全国消防救助シンポジウム	30. 11. 26	1
	予 防	予防技術講習	30. 7. 27	1
		違反是正研修会	30. 8. 22	2
		不正軽油対策連絡会議	30. 8. 27	1
		火災調査研究発表会	30. 10. 18	2
		消防法令違反是正事例発表会	30. 10. 24	1
		東海地区消防警察機関事故原因究明技術研修会	30. 10. 29	1
		製品安全業務報告会	30. 11. 9	1
		消防法令違反是正研修会	31. 1. 18	2
		予防技術資格者検定	31. 3. 18	1
	通 信 指 令	第2回通信指令シンポジウム	31. 2. 23	1
	そ の 他	大型自動車免許取得（普通免許所持）	30. 5. 10～30. 7. 21	3
		酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	30. 6. 27～30. 6. 29	1
		緊急自動車ドライバー安全運転研修	30. 11. 14～30. 11. 15	1

## 応急手当普及啓発活動実施状況

菰野町消防本部では平成7年度から応急手当の普及啓発活動実施要綱に基づく普及活動を実施しており、止血法や固定法などを学ぶ救急講習、心肺蘇生法とAEDの取り扱い方法を学ぶ普通救命講習、各区や事業所などで普通救命講習を開催できる指導者を養成する応急手当普及員講習などを開催しています。

年度	救急講習		普通救命講習		応急手当普及員講習	
	回数	受講者数	回数	修了者数	回数	修了者数
平成7年度	10	351	5	93		
平成8年度	16	330	7	78		
平成9年度	18	384	10	130		
平成10年度	12	310	8	90		
平成11年度	14	942	8	142		
平成12年度	14	382	11	206		
平成13年度	9	257	13	151		
平成14年度	9	396	24	408		
平成15年度	14	592	13	197		
平成16年度	17	828	16	263		
平成17年度	9	1,094	33	480	1	12
平成18年度	15	734	59	840	5	60
平成19年度	16	461	60	989	3	57
平成20年度	4	226	71	1,013	4	72
平成21年度	11	262	44	592	3	45
平成22年度	7	302	35	512	2	38
平成23年度	9	319	45	699		
平成24年度	11	468	39	628	2	26
平成25年度	6	276	37	571	1	29
平成26年度	17	459	45	564	3	28
平成27年度	21	526	47	636	3	42
平成28年度	12	427	42	555	3	19
平成29年度	17	671	45	577	3	17
平成30年度	8	172	40	541	3	22
合計	296	11,169	757	10,955	36	467

# 自主防災組織

平成31. 4. 1現在

(1) 婦 人 消 防 隊	}	菰野地区婦人消防隊 ( 昭和43年4月21日結成 372 人)
		鵜川原地区婦人消防隊 ( 昭和40年3月20日結成 77 人)
		竹永地区婦人消防隊 ( 昭和58年6月 1日結成 72 人)
		朝上地区婦人消防隊 ( 昭和42年4月 1日結成 148 人)
		千種地区婦人消防隊 ( 昭和57年4月21日結成 112 人)
<hr style="width: 100%;"/>		合計 5 隊 総員 781 人

## (2) 自 警 団

合計 32 団 総員 739 人

菰 野 地 区	}	神 明 区 ( 16 人 )
		菰 野 第 一 区 ( 36 人 )
		菰 野 第 三 区 ( 146 人 )
		宿 野 区 ( 18 人 )
		福 村 区 ( 50 人 )
		神 森 区 ( 14 人 )
<hr style="width: 100%;"/>		計 6 団 総員 280 人

鵜 川 原 地 区	}	大 強 原 区 ( 15 人 )
		下 村 区 ( 15 人 )
		川 北 区 ( 15 人 )
		池 底 区 ( 12 人 )
		吉 沢 区 ( 10 人 )
		諏 訪 区 ( 9 人 )
<hr style="width: 100%;"/>		計 6 団 総員 76 人

竹 永 地 区	}	竹 成 区 ( 11 人 )
		永 井 区 ( 37 人 )
<hr style="width: 100%;"/>		計 2 団 総員 48 人

朝 上 地 区	}	榊 区 ( 13 人 )
		松 涛 園 区 ( 12 人 )
		小 島 区 ( 15 人 )
		田 口 新 田 区 ( 20 人 )
		美 山 区 ( 24 人 )
		田 口 区 ( 9 人 )
		日 丘 区 ( 24 人 )
		切 畑 区 ( 5 人 )
		一 本 木 団 地 ( 10 人 )
		青 葉 台 区 ( 8 人 )
<hr style="width: 100%;"/>		計 10 団 総員 140 人

千 種 地 区	}	千 草 区 ( 25 人 )
		音 羽 区 ( 14 人 )
		潤 田 区 ( 34 人 )
		三 滝 園 区 ( 43 人 )
		岡 区 ( 13 人 )
		福 松 区 ( 19 人 )
		奥 郷 区 ( 10 人 )
		江 野 区 ( 37 人 )
<hr style="width: 100%;"/>		計 8 団 総員 195 人

# 緊急避難所

平成31. 4. 1現在

区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
神明	グリーンホテル	大字千草7054-173	059-392-3111	40
	神明区公会所	大字菰野8475-22		32
大羽根園	大羽根園自治会公会所	大羽根園並木通4	059-394-1884	62
菰野第一区	菰野第一区第一公会所	大字菰野9007	059-393-2116	29
菰野第二区	菰野第二区公民館	大字菰野2203-1	059-394-0940	80
菰野第三区	南部公民館	大字福村148	059-393-1991	128
	第三区民栄会館	大字菰野1419-8	059-394-0986	25
	川原町集会所	大字菰野1778		18
宿野	宿野公会所	大字宿野230-1	059-394-0913	65
福村	福村公会所	大字福村272	059-394-2744	56
神森	神森集落センター	大字神森705	059-394-1984	33
大強原	大強原公会所	大字大強原3482-1	059-394-6237	47
下村	下村公会所	大字下村2166-3		48
川北	川北公会所	大字川北563	059-393-2074	81
池底	池底集落センター	大字池底1152	059-394-1127	41
吉沢	吉沢集落センター	大字吉沢1792-2	059-394-1269	44
諏訪	諏訪公会所	大字諏訪3822	059-394-2904	63
竹成	竹成区公会堂	大字竹成2116	059-396-1880	81
永井	永井集落センター	大字永井3832	059-396-1707	34
田光	田光公会堂	大字田光2066	059-396-0127	90
杉谷	杉谷公会所	大字杉谷2580	059-396-2319	66
榊	榊公会所	大字榊303		16
松涛園	松涛園公会所	大字小島417-185		36
小島	小島集落センター	大字小島1687-1	059-396-4118	33
田口新田	田口新田公会所	大字田口新田2256		42
美山	美山区公会所	大字田口新田232-32		13
田口	田口公会所	大字田口2493		56
日丘	日丘区公会所	大字田口新田117-66		16
切畑	切畑公会所	大字切畑578-8		12
根の平	根の平公会所	大字根の平114-1		10
一本木団地	一本木公会所	大字榊895-44		24

区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
青葉台	青葉台公会所	大字杉谷1572-187		39
	(株)マキテック三重工場	大字千草4633-9		87
千草	千草公会所	大字千草2763	059-394-6280	50
	千草区区民センター	大字千草2510		26
音羽	音羽公会所	大字音羽585-1		31
潤田	潤田集落研修センター	大字潤田499		79
三滝園	三滝園公会所	大字潤田650-177		26
岡	岡公民館	大字千草4127-10		56
福松	福松構造改善センター	大字千草5364-16	059-394-5194	42
奥郷	奥郷構造改善センター	大字千草6368-2	059-394-3773	43
江野	江野区公会所	大字千草7045-897	059-392-2105	37

緊急避難所…有効スペース3㎡×1人

## 風水害時における緊急避難所を補完する施設

地区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
菰野地区	菰野地区 コミュニティセンター	大字菰野1418	059-394-5333	21
朝上地区	朝上地区 コミュニティセンター	大字田光4291	059-396-0001	22
千種地区	千種地区 コミュニティセンター	大字千草3851	059-393-2052	18

有効スペース(和室) 3㎡×1人

◎緊急避難所を補完する施設とは、緊急避難所で受け入れ出来ない避難者及びキャンプ場宿泊者を受け入れる場合に利用する。

## 収容避難所

地区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
菰野地区	菰野町B&G海洋センター	大字菰野4775-1	059-394-3177	381
	菰野小学校	大字菰野1490	059-393-2006	288
	菰野中学校	大字菰野1192	059-393-2122	357
	菰野高等学校	大字福村870	059-393-1131	382
鵜川原地区	鵜川原小学校	大字大強原913	059-393-2118	183
竹永地区	竹永小学校	大字竹成2593-5	059-396-0009	198
朝上地区	朝上小学校	大字田光66	059-396-0004	294
	八風中学校	大字田光3808-18	059-396-0012	338
千種地区	千種小学校	大字千草3861	059-394-2590	333

収容避難所…体育館等3㎡×1人

## 収容避難所を補完する施設

地区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
菰野地区	菰野保育園	大字菰野2098	059-393-2135	27
	菰野西保育園	大字菰野8870	059-394-0884	54
	菰野幼稚園・菰野東保育園	大字菰野1485	059-393-1179	69
鵜川原地区	鵜川原幼稚園・鵜川原保育園	大字大強原829-1	059-393-2405	36
竹永地区	竹永幼稚園・竹永保育園	大字永井59	059-396-0527	51
朝上地区	朝上幼稚園・朝上保育園	大字田光3306-2	059-396-0114	44
	北部子ども子育て支援拠点施設	大字田光4293	059-396-0707	41
千種地区	千種幼稚園・千種保育園	大字音羽2240	059-393-2406	51

◎収容避難所を補完する施設とは、収容避難所の収容能力を超える被災者を受け入れる場合に利用する隣接の保育園、幼稚園で、収容人数は、ホール3㎡×1人。

# 消防団



菰野町で発生する火災をはじめとする災害から町民を守るため消防団は訓練を積み重ね、知識技術の向上に努めています。その成果を披露する大会が毎年夏に開催されますが、その規律あるチームワークの良さは目を見張るものがあり、地域防災の担い手として頼もしい限りです。

菰野町消防団操法大会

平成30年6月24日  
於：菰野町役場北駐車場

## 消防団

消防団は郷土愛の精神に基づき、地域に密着した防災活動機関として地震、風水害、火災等の災害時には町民の生命財産の保護等消防防災活動に当たるとともに、平常時には、火災予防広報、防災指導等に従事し、地域防災上重要な役割をはたしています。

平成30年中における主な活動は、火災件数13件の内、消防団車両の出動は10回、延べ出動人員250人。その他、出初式、各種訓練、警戒、警備等に出動し活躍しています。

## 菰野町消防団の沿革

明治27年	消防制度が統一され、当時の菰野村、鶴川原村、竹永村、朝上村、千種村の5村に消防組が組織される。
昭和 3年	町制施行により菰野村が菰野町となる。
昭和14年	警察消防体制の確立により5町村の消防組が警防団に改められる。
昭和23年	消防組織法の施行により5町村の警防団が消防団として組織される。
昭和30年 4月	町村合併促進法の制定により朝上村と千種村が合併し、朝明村となり朝明村消防団が組織される。
昭和31年 9月	菰野町と鶴川原村、竹永村が合併し菰野町となり、菰野町消防団、朝明村消防団の2団となる。
昭和32年 1月	菰野町と朝明村が合併し菰野町となり、同時に菰野町消防団（団員数 159名）に統一、菰野分団、鶴川原分団、竹永分団、朝上分団、千種分団の5分団で組織される。
昭和41年 7月	湯の山地区自警団が湯の山分団となり、全6分団となる。
昭和43年 1月	菰野町役場に本部班が設置される。
昭和58年 4月	本部班が本部分団となり、全7分団となる。
昭和58年 7月	三重県消防操法大会に本部分団が出場し、優勝する。
昭和59年 7月	三重県消防操法大会に朝上分団が出場し、優勝する。
平成 2年10月	全国消防操法大会に朝上分団が出場し、優良賞を獲得する。
平成 6年10月	全国消防操法大会に菰野分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
平成 9年 2月	第49回日本消防協会定例表彰式において特別表彰「まとい」を受章する。
平成 9年 8月	三重県消防操法大会に鶴川原分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
平成18年 7月	三重県消防操法大会に竹永分団が出場し、準優勝する。
平成26年11月	全国消防操法大会に朝上分団が出場し、敢闘賞を獲得する。

## 歴代消防団長(合併以降)

初代	服部 幸太郎	自	昭和32年 1月15日	至	昭和52年 4月 1日
二代	伊藤 正一	自	昭和52年 6月15日	至	昭和55年12月31日
三代	谷 善一	自	昭和56年 1月 1日	至	昭和58年12月31日
四代	辻 収	自	昭和59年 1月 1日	至	平成 7年 2月28日
五代	白木 一	自	平成 7年 3月 1日	至	平成17年 3月31日
六代	小林 幸治	自	平成17年 4月 1日	至	平成29年 3月31日
七代	増田 富雄	自	平成29年 4月 1日	至	平成29年11月21日
八代	服部 卓美	自	平成30年 1月 1日		現在に至る

# 消防団の機構、団員数

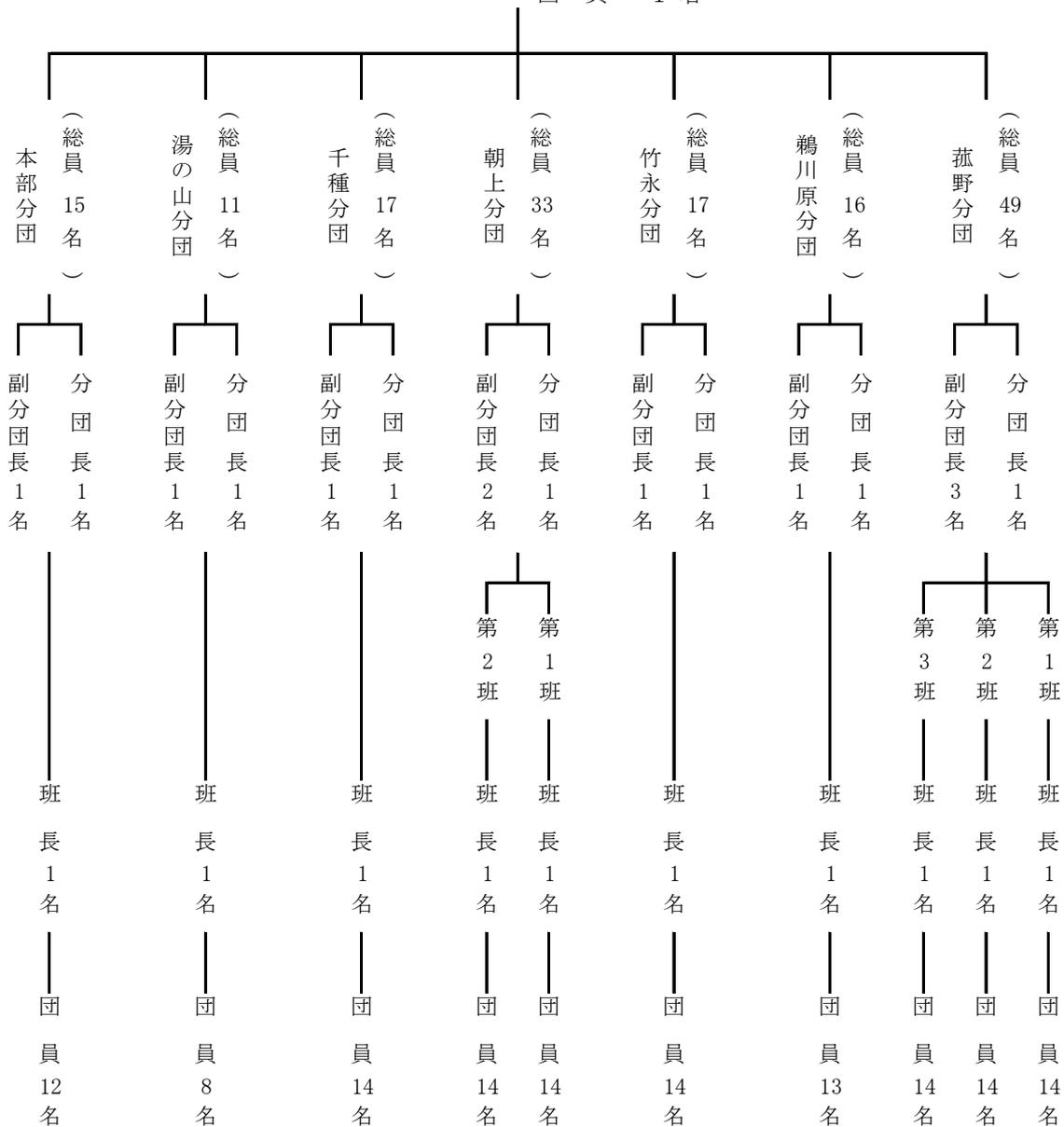
平成31. 4. 1現在

菰野町消防団 分団数 7分団 (10班)  
 団員定数 168名  
 現有団員数 162名

## 菰野町消防団

( 総員 162 名 )

消防団本部  
 団長 1名  
 副団長 2名  
 団員 1名



## 年齢別及び階級別消防団員数

平成31. 4. 1現在

年齢 \ 階級	団 長	副団長	分団長	副分団長	班 長	団 員	合 計
18 歳 ～ 20 歳						3	3
21 歳 ～ 25 歳						19	19
26 歳 ～ 30 歳				1	1	41	43
31 歳 ～ 35 歳			2	1	4	42	49
36 歳 ～ 40 歳				2	3	18	23
41 歳 ～ 45 歳			1	4	2	8	15
46 歳 ～ 50 歳			3	2			5
51 歳 ～ 55 歳		1	1			1	3
56 歳 ～ 60 歳	1	1					2
61 歳 ～ 65 歳							
合 計	1	2	7	10	10	132	162

平均年齢 32.8 歳

## 在職年数別消防団員数

平成31. 4. 1現在

在職年数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	合 計
団 員 数	61	43	34	15	3	3	3	162

## 消防団員報酬

平成31. 4. 1現在

階 級	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	班 長	団 員
年 間 報 酬 額 (円)	186,000	128,000	105,000	87,000	76,000	70,000

## 消防団員各種手当

平成31. 4. 1現在

項 目	水 火 災	訓 練	警 戒	ポンプ点検	車両検査	賄 手 当
1 回 当 り の 手 当 (円)	5,000	2,000	1,000	700	700	700

※水火災については活動時間が4時間未満の場合は2分の1の額とする。

## 消防団員職業別構成表

平成31.4.1現在

職 業	自営業	会社員	公務員	その他 (役員等)	合計
人 数	8	98	36	20	162

## 消防団消防車両配置状況

平成31.4.1現在

分団名	区分	車 名	規格等	登 録 番 号	登録年月日	排気量 (cc)	車両総重量 (kg)	免 許 区 分
菰野分団第1班		いすゞ	CD-I	三重800す 715	H17. 2. 9	4,770	4,460	準中型
菰野分団第2班		いすゞ	CD-I	三重800す7276	H23. 2. 14	2,990	4,730	準中型
菰野分団第3班		いすゞ	CD-I	三重800さ9007	H15. 12. 15	4,770	4,320	準中型
鶴川原分団		いすゞ	CD-I	三重800す5567	H21. 2. 3	2,990	4,620	準中型
竹永分団		いすゞ	CD-I	三重800さ4047	H13. 2. 7	4,570	4,470	準中型
朝上分団第1班		いすゞ	CD-I	三重800す4668	H20. 2. 6	2,990	4,440	準中型
朝上分団第2班		いすゞ	CD-I	三重800さ7399	H14. 12. 16	4,770	4,690	準中型
千種分団		いすゞ	CD-I	三重800さ5820	H13. 12. 18	4,570	4,410	準中型
湯の山分団		いすゞ	CD-I	三重800さ4046	H13. 2. 7	4,570	4,470	準中型
本部分団		いすゞ	CD-I	三重830せ1702	H29. 2. 22	2,990	4,900	準中型
団本部		日産	付積	三重800せ 280	H27. 3. 26	2,480	3,220	普通
〃		トヨタ	付積	三重 88ほ7972	H 7. 8. 30	1,990	2,290	普通
〃		日産	ワゴン	三重502ふ2380	H26. 11. 27	1,590	1,735	普通

※付積＝小型動力ポンプ付積載車

# 予防



火災は初期の小さな火のうちに消火してしまえば、被害を最小限にとどめることが出来ます。地域住民や事業所の皆さんに火災を出さないポイントと共に、初期消火の方法を覚えていただくため、消火訓練を行っています。

春の火災予防運動に伴う特別消防訓練

平成30年2月27日  
於：ケアハウス白百合ハイツ

## 予 防

消防のなかで火災等の災害を未然に防止することも重要な仕事のひとつです。一般家庭に対しては、行事、講習会等を通じ防火意識の普及高揚を図るとともに、事業所に対しては危険物の取扱い、消防用設備等の設置、維持、管理等について指導を行っています。

## 防火対象物現況

用 途		平成31. 4. 1現在			平成30. 4. 1現在			
		4階未満	4階以上	合 計	4階未満	4階以上	合 計	
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場						
	ロ	公会堂又は集会場	37		37	38	38	
2	イ	キャバレー又はナイトクラブ						
	ロ	遊技場 ダンスホール	5		5	6	6	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ	カラオケボックス等	1		1			
3	イ	待 合 、 料 理 店						
	ロ	飲 食 店	44		44	46	46	
4		百貨店、マーケット又は店舗	63		63	70	70	
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	31	13	44	105	11	116
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	229	14	243	204	14	218
6	イ	病院、診療所又は助産所	17	2	19	24	2	26
	ロ	老人短期入所施設等	17	3	20	11	3	14
	ハ	老人デイサービスセンター等	23		23	25		25
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	1		1	2		2
7		小学校、中学校、高等学校、各種学校	38	2	40	29	2	31
8		図書館、博物館、美術館	4		4	5		5
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場	1		1	1		1
	ロ	イ以外の公衆浴場	2		2	1		1
10		車 両 の 停 車 場	2		2	4		4
11		神 社 、 寺 院 、 教 会	37		37	44		44
12	イ	工 場 又 は 作 業 場	178	4	182	173	3	176
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ						
13	イ	自動車車庫又は駐車場	18		18	13		13
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫						
14		倉 庫	91	3	94	91		91
15		前各項に該当しない事業場	115	3	118	115	5	120
16	イ	特定複合用途防火対象物	40	1	41	30	2	32
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	16	3	19	10	1	11
合 計			1,010	48	1,058	1,047	43	1,090

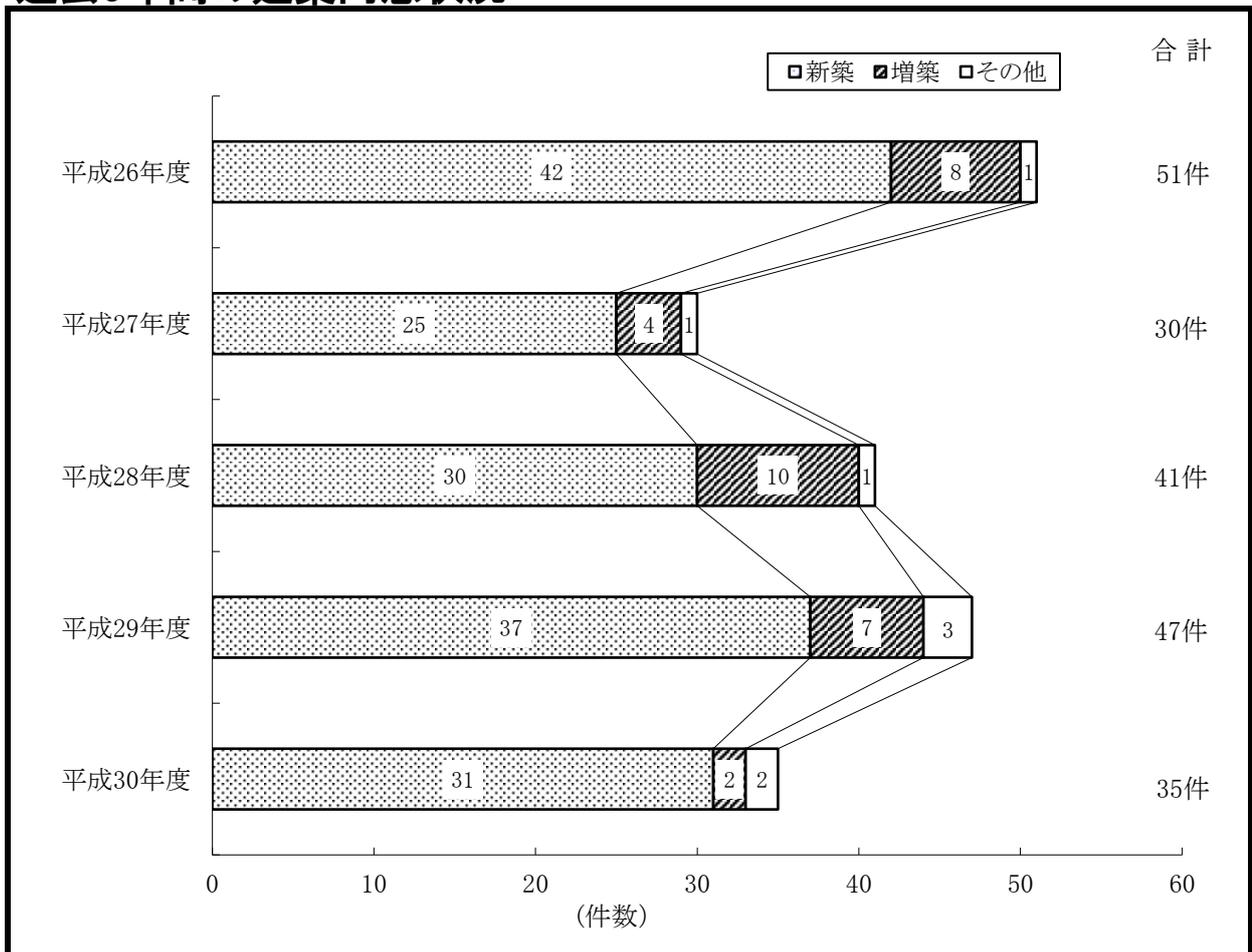
# 用途別建築同意状況

用 途		月 別													30年度 合 計	29年度 合 計		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場																
	ロ	公会堂又は集会場														1	1	
2	イ	キャバレー又はナイトクラブ																
	ロ	遊技場 ダンスホール																
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等																
	ニ	カラオケボックス等																
3	イ	待合、料理店																
	ロ	飲食店																1
4		百貨店、マーケット又は店舗										1					1	4
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所																1
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	1				1										2	4
6	イ	病院、診療所又は助産所				1											1	1
	ロ	老人短期入所施設等							1						1	2	1	1
	ハ	老人デイサービスセンター等																2
	ニ	幼稚園又は特別支援学校																
7		小学校、中学校、高等学校、各種学校																
8		図書館、博物館、美術館																1
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場																
	ロ	イ以外の公衆浴場																
10		車両の停車場																
11		神社、寺院、教会	1				1										2	1
12	イ	工場又は作業場	1			1	1								2	1	6	5
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ																
13	イ	自動車車庫又は駐車場																1
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫																
14		倉庫	1				1	1							1	4	8	
15		前各項に該当しない事業場	2		2	1	2				1	1		1		10	8	
16	イ	特定複合用途防火対象物	1													1	1	1
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物				1										1		
その他		住 宅		1		1									1	3	6	6
		そ の 他										1				1	2	2
合 計			7	1	2	5	6	1	1	1	3		3	3	5	35	47	

## 工事別建築同意状況

区分	工事種別					平成30年度 合 計	平成29年度 合 計
	新 築	増 築	改 築	用途変更	そ の 他		
同 意	31	2		1	1	35	47
不 同 意							
合 計	31	2		1	1	35	47

## 過去5年間の建築同意状況



## 危険物施設現況

区分		製造所等の別	製造所	貯 蔵 所							取 扱 所					30年度合計	29年度合計		
				小計	屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	小計	給油		第一種販売			第二種販売	一般
													営業用	家用					
倍 数 別	検査済施設数	1	120	30	17	7	37	1	23	5	57	14	19		1	23	178	180	
	5倍以下		57	10	4	7	24	1	9	2	11		3			8	68	69	
	5倍超10倍以下		24	3	9		10			2	7					7	31	31	
	10倍超50倍以下	1	20	4	4		3		8	1	24	2	15		1	6	45	43	
	50倍超100倍以下		4		1				3		5	2	1			2	9	10	
	100倍超150倍以下		7	4					3		1	1					8	9	
	150倍超200倍以下		2	2							2	2					4	4	
	200倍超1,000倍以下		3	3							7	7					10	10	
	1,000倍超		4	4												4	4		
類 別	第1類		1	1													1	1	
	第2類																		
	第3類																		
	第4類	1	118	28	17	7	37	1	23	5	57	14	19		1	23	176	178	
	第5類		1	1													1	1	
	第6類																		
	混在																		

## 危険物施設許可認可状況

区分		許 可				完 成 検 査				仮使用承認		廃 止 届			
		設 置		変 更		設 置		変 更							
		30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度		
製造所等の別															
製 造 所															
貯 蔵 所	屋 内		2		1		2	1	1	1	1				
	屋外タンク		1				1						9		
	屋内タンク														
	地下タンク				3				3				1	2	
	簡易タンク														
	移動タンク	2			1		2		1					4	
	屋 外		1					1							
取 扱 所	給 油		2		1		9		1	2	6		7	1	1
	第一種販売														
	第二種販売														
	一 般		2		15		3		1	11	2	13	2	3	
合 計		2	8	20	13	3	5	18	9	14	10	9	12		

## 各種届出処理状況

平成30年度

区 分	件 数	区 分	件 数
防 火 管 理 者 選 解 任 届	67	蓄 電 池 設 備 設 置 届	9
消 防 計 画 書	72	ネ オ ン 管 灯 設 備 設 置 届	
消 防 用 設 備 等 点 検 結 果 報 告 書	300	水 素 ガ ス を 充 て ん す る 気 球 設 置 届	
液 化 石 油 ガ ス 等 貯 蔵 取 扱 届	8	少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 届	57
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	32	指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 届	2
消 防 訓 練 実 施 届	160	毒 物 、 劇 物 貯 蔵 取 扱 届	2
炉 設 置 届		火 災 と ま ぎ ら わ し い 煙 等 届	94
ボ イ ラ ー 設 備 等 設 置 届	14	煙 火 ( 打 上 げ 、 仕 掛 け ) 届	10
発 電 設 備 設 置 届	5	消 防 用 設 備 等 着 工 届	50
変 電 設 備 設 置 届	11	消 防 用 設 備 等 設 置 届	58
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	28	露 店 等 の 開 設 届	55

## 消防用設備等設置検査実施状況

区 分	件 数	
	30 年 度	29 年 度
検 査 済 証	43	40

# 広報、啓発活動状況

平成30年度

区 分	回 数 等	延べ対象者数等
消防広場（菰野町文化祭）	1回	約3,000人
庁舎見学	9回	520人
訓練指導	31回	2,104人
一人暮らし高齢者防火訪問	14件	14人
巡回広報	11回	町内全域
防火だよりの発刊	2回	27,200部
写生大会、防火習字	各1回	781人
広報印刷物等	ポスター	1,610枚
	チラシ	2,200枚
	広報こもの	7回 97,300部
	お知らせ版	13回 178,100部
その他	のぼり	62日間 150本
	懸垂幕	33日間 5枚
	横断幕	35日間 13枚
	防災ラジオ放送	26回 12,025台

【令和元年度全国統一防火標語】

「ひとつずつ いいね！で確認 火の用心」

【令和元年度危険物安全週間推進標語】

「無事故への 構え一分の 隙も無く」

# 火災



菰野町の約3分の1は山林で占められ、鈴鹿国定公園にも指定されています。山林は一旦火災となると大規模に拡大する可能性が高いことから、この豊かな自然を守るため菰野町の全消防隊が集結し、特別消防訓練を実施しました。

秋の火災予防運動に伴う特別消防訓練

平成30年11月11日  
於：三重県民の森

# 火災

平成30年中は13件の火災が発生し、これら全火災での損害額は2,033千円でした。

火災件数は、前年に比べて7件減少しました。特に枯草等その他火災が4件減少しています。

なお、建物の全焼案件は無く、負傷者の発生もありませんでした。

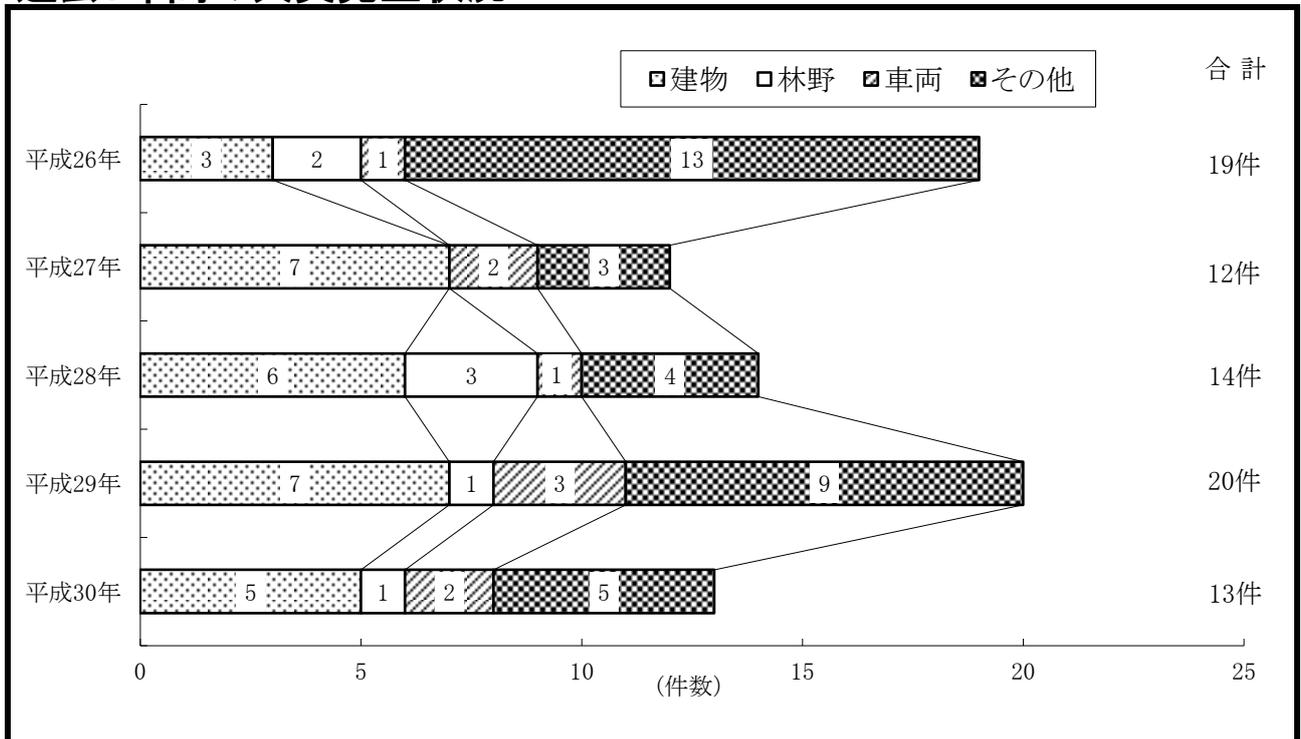
## 火災発生状況

区 分		年 別				
		平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
全 国	火 災 件 数	43,741	39,111	36,831	39,373	
	出 火 率	3.4	3.1	2.9	3.1	
	1 件 当 り 損 害 額 (千 円)	1,950	2,110	2,043	2,269	
三 重 県	火 災 件 数	797	604	654	634	
	出 火 率	4.3	3.2	3.5	3.4	
	1 件 当 り 損 害 額 (千 円)	2,258	2,901	1,981	1,384	
菰野町	火 災 件 数	19	12	14	20	13
	出 火 率	4.7	2.9	3.4	4.8	3.1
	1 件 当 り 損 害 額 (千 円)	656	2,624	1,888	1,300	156

※出火率＝出火件数/人口×10,000

※菰野町人口41,854人(平成30年12月31日現在)

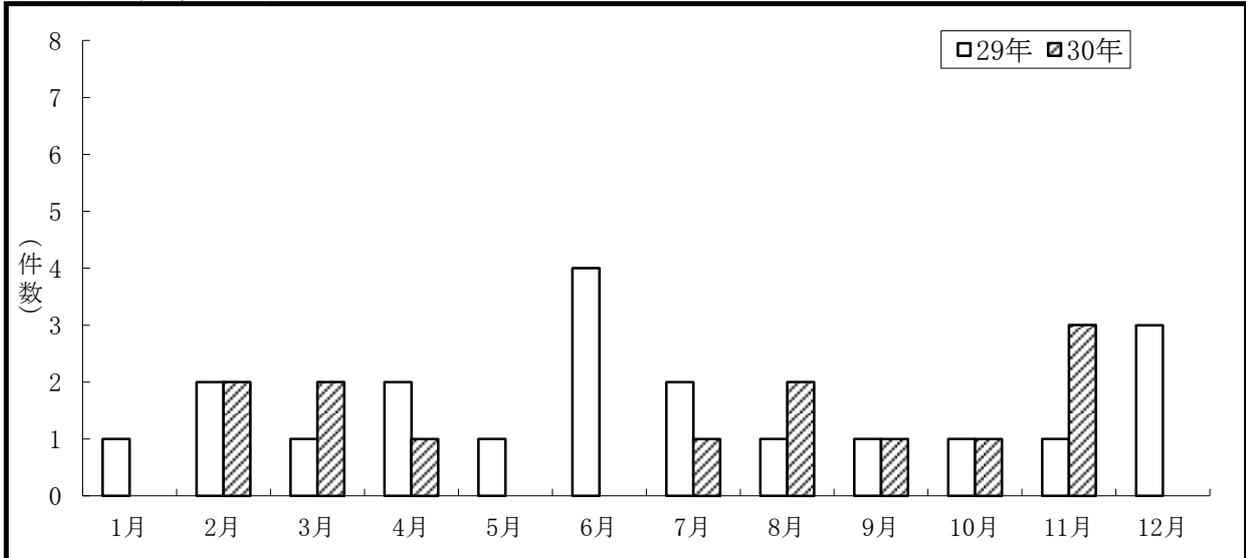
## 過去5年間の火災発生状況



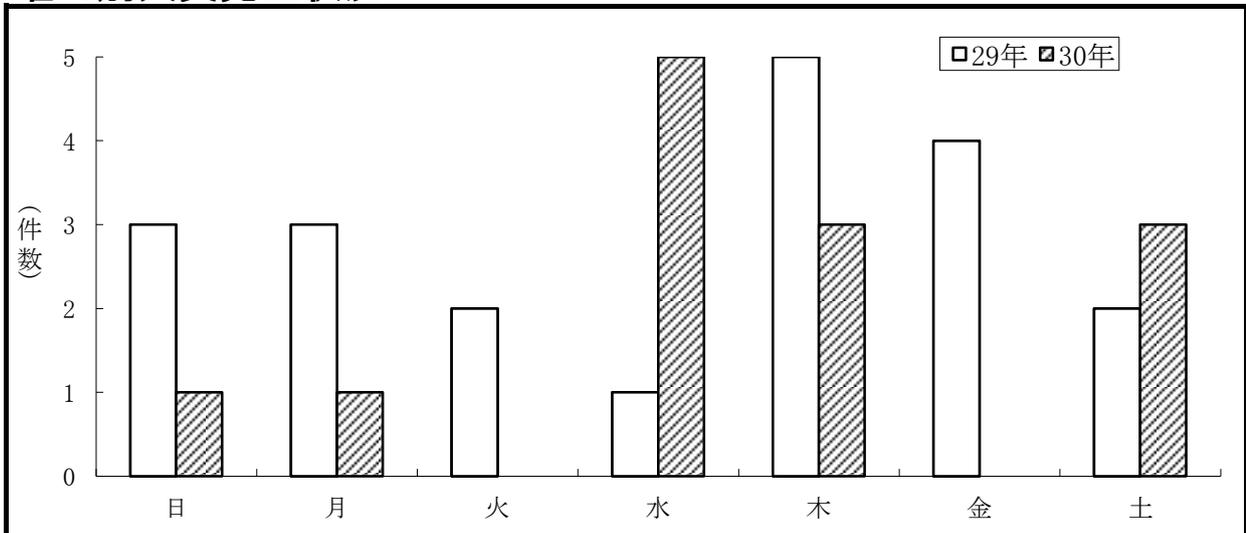
## 地区別火災発生状況

区分 地区	火災 件数	火災種別				建物 焼損面積 (㎡)	林野 焼損面積 (a)	焼損棟数					り 災世帯数	損害額 (千円)	死傷者	
		建物 火災	林野 火災	車両 火災	その他 火災			全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	合 計			死 者	負 傷者
菰野																
鶴川原																
竹永	5	3			2	27				1	2	3		1,337		
朝上	3	1		1	1	1					1	1	1	163		
千種	5	1	1	1	2	13	0.59			1		1		533		
合計	13	5	1	2	5	41	0.59			2	3	5	1	2,033		

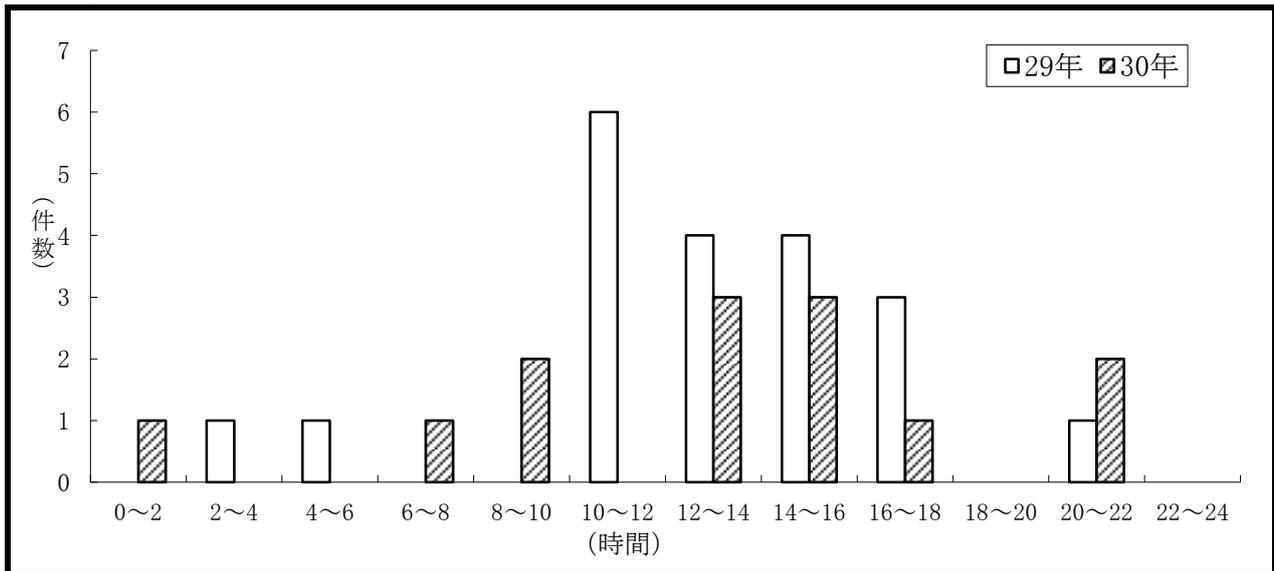
## 月別火災発生状況



## 曜日別火災発生状況



## 時間別火災発生状況



## 火災出動状況

種別 区分	火 災					非 火 災				管外
	建 物	林 野	車 両	その他	計	警 戒	誤 報 誤 認 虚 報	その他	計	
署単独出動	2			1	3	38	1	6	45	
第1出動	3	1	2	4	10					
第2出動										
第3出動										
事後聞知										
合 計	5	1	2	5	13	38	1	6	45	

## 火災出動区分詳細

火災種別	出動区分	消防本部・消防署出動車両	消防団出動車両
建物 危険物施設 航空機・林野	第1出動	タンク車・ポンプ車・指揮車 3車両	地元分団及び本部分団 4~5車両
	第2出動	タンク車・ポンプ車・指揮車 3車両	全分団 11車両
車両・特殊車両 危険物車両 枯草・その他	第1出動	タンク車・ポンプ車・指揮車 3車両	地元分団及び本部分団 2~3車両
	第2出動	タンク車・ポンプ車・指揮車 3車両	地元分団及び応援分団 4~5車両
	第3出動	タンク車・ポンプ車・指揮車 3車両	全分団 11車両
中高層	第1出動	タンク車・ポンプ車・指揮車・はしご車 4車両	地元分団及び応援分団 4~5車両
	第2出動	タンク車・ポンプ車・指揮車・はしご車 4車両	全分団 11車両
トンネル (高速道路)	第1出動	タンク車・ポンプ車・指揮車・救助工作車 4車両	
	第2出動	タンク車・ポンプ車・指揮車・救助工作車 4車両	
事後聞知		タンク車・指揮車 1~2車両	

※高速道路内の火災は原則として消防団は出動しない。

## 火災発生状況及び出火原因状況

番号	火災種別	出火日時	出火地区 (区)	※覚知別	天候	風向	風速 (m/s)	気温 (℃)
1	その他	2月14日(水) 13時45分	千種郷 (奥郷)	報知電話	晴	西南西	4	10
2	その他	2月26日(月) 14時15分	竹永井 (永井)	報知電話	晴	北西	5	12
3	その他	3月3日(土) 12時50分	朝上島 (小島)	報知電話	晴	東北東	2	12
4	建物	3月18日(日) 6時35分	竹永井 (永井)	報知電話	晴	無風	0	4
5	車両	4月11日(水) 0時30分	千種郷 (奥郷)	報知電話	晴	南南東	1	14
6	建物	7月28日(土) 14時10分	朝上島 (小島)	報知電話	晴	西北西	4	32
7	林野	8月9日(木) 9時00分	千種郷 (江野)	報知電話	晴	西北西	4	30
8	建物	8月23日(木) 14時55分	千種郷 (岡)	報知電話	雨	南南西	8	26
9	車両	9月19日(水) 17時10分	朝上光 (田光)	報知電話	晴	北北東	1	26
10	その他	10月31日(水) 20時50分	竹永成 (竹成)	報知電話	曇	北北西	4	12
11	建物	11月15日(木) 21時40分	竹永成 (竹成)	報知電話	晴	北北東	2	12
12	建物	11月17日(土) 8時55分	竹永成 (竹成)	報知電話	晴	東南東	1	16
13	その他	11月21日(水) 13時55分	千種郷 (音羽)	加入電話	晴	東南東	1	16

※ 報知電話 = 119番(携帯電話等含む)  
加入電話 = 一般加入電話

	湿度 (%)	出 火 原 因 等			被 害 状 況
		発 火 源	経 過	着 火 物	
	26	枯草焼き	火の粉が散る 遠くへ飛び火 する	枯草	空地の枯草を焼損
	31	ライター	火の粉が散る 遠くへ飛び火 する	枯草	空地の枯草を焼損
	43	その他の裸火	火源が動いて 接触する	その他	散乱していた杉の枝葉を焼損
	78	ライター	放火	合成樹脂と 成形品	商品陳列棚の価格表示のプラスチック板を焼損 (ぼや)
	83	内燃機関	加熱する	第四石油類	普通乗用車のエンジン周辺から出火し車両全体 を焼損
	54	リチウム電池	その他	机	リチウム電池の破裂によりケース及びケーブル 等周辺の可燃物を焼損 (ぼや)
	67	火のついたゴミ	火源が動いて 接触する	その他	原野の青草を焼損
	93	不明	不明	金属屑	スクラップ倉庫に集積されていた鉄くずを焼損 (部分焼)
	43	不明	不明	第一石油類	二輪車のエンジン周辺を焼損
	75	その他の再燃に より出火原因と なりやすいもの	余熱で発火する	まき、たきつけ	薪及び周辺の可燃物を焼損
	64	高温気体 -煙道	過熱	その他	排気分別装置の配管内で高温となった胡麻の表皮 が異常燃焼したもの (ぼや)
	60	塗料かす	自然発火する	その他	金属製ペール缶へ廃棄した防護服が自然発火し 周辺の可燃物を焼損 (部分焼)
	47	枯れ草焼き	火の粉が散る 遠くへ飛び火 する	枯草	道路法面の枯草を焼損

# 絵で見る火災原因（13件）



枯草・たき火 5件



内燃機関 2件



自然発火 2件



電気機器 1件



放火 1件



その他 2件

# 救急、救助



平成30年度全国高等学校総合体育大会山岳競技の地元開催に備え、菰野町遭難救助隊及び四日市西警察署と合同で山岳救助訓練を実施し、事故発生時における救助活動の連携強化を図りました。

山岳救助訓練

平成30年5月15日～17日  
於：菰野町地内 山間部

## 救 急

平成30年中の救急件数は1,607件、搬送人員は1,547人でした。1日あたり平均4.4件の出動で、町民27人に1人の割合で救急車が利用されたことになります。

救急件数を事故種別で見ると、急病が1,086件(67.6%)で最も多く、続いて一般負傷が257件(16%)、交通事故が170件(10.6%)、その他が94件(5.8%)となりました。

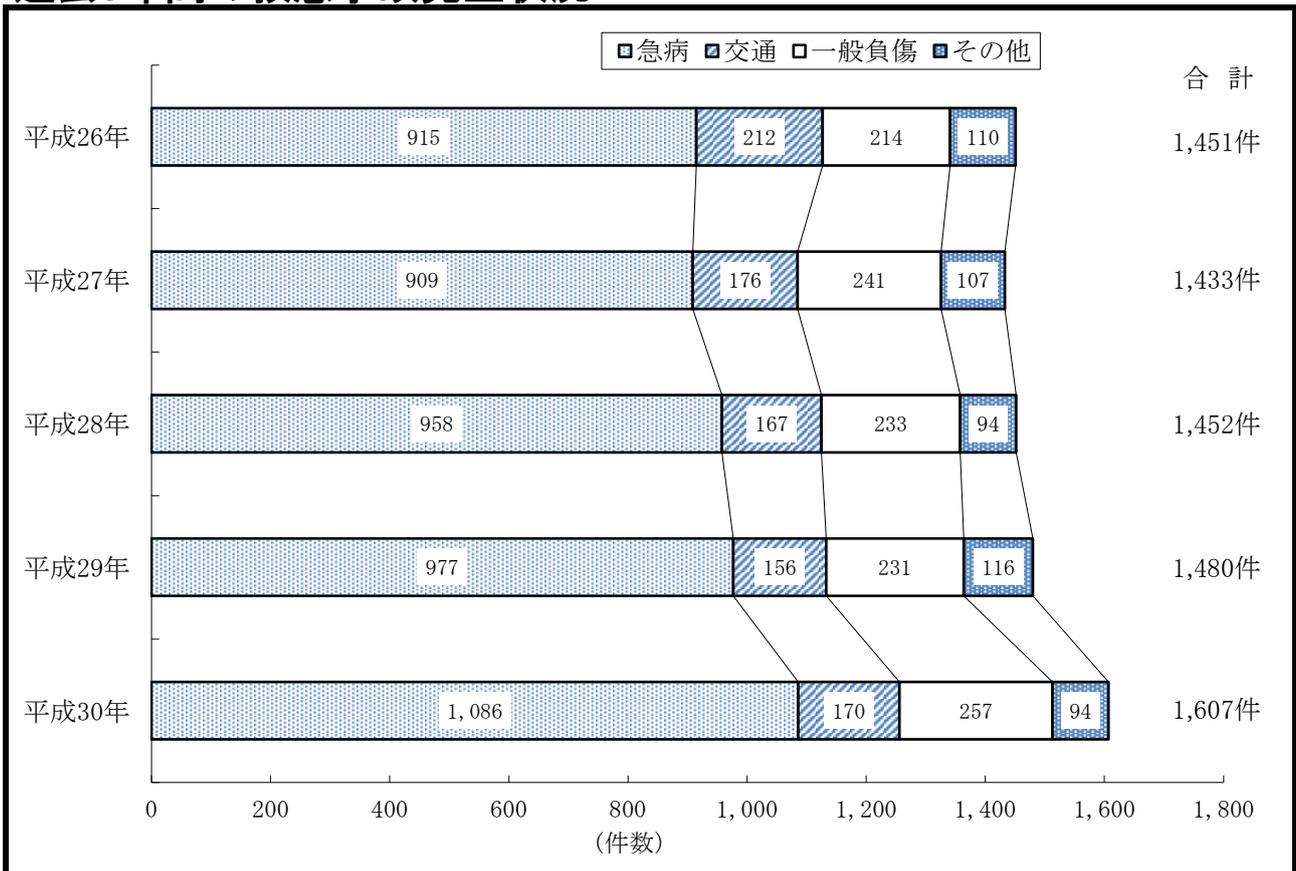
## 救急事故発生状況

区 別		年 別				
		平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
全 国	救急件数	5,984,921	6,054,815	6,209,964	6,342,147	
	発 生 率	467	477	489	499	
三 重 県	救急件数	89,277	90,593	91,492	94,160	
	発 生 率	481	499	504	519	
菰 野 町	救急件数	1,451	1,433	1,452	1,480	1,607
	発 生 率	350	345	348	354	384

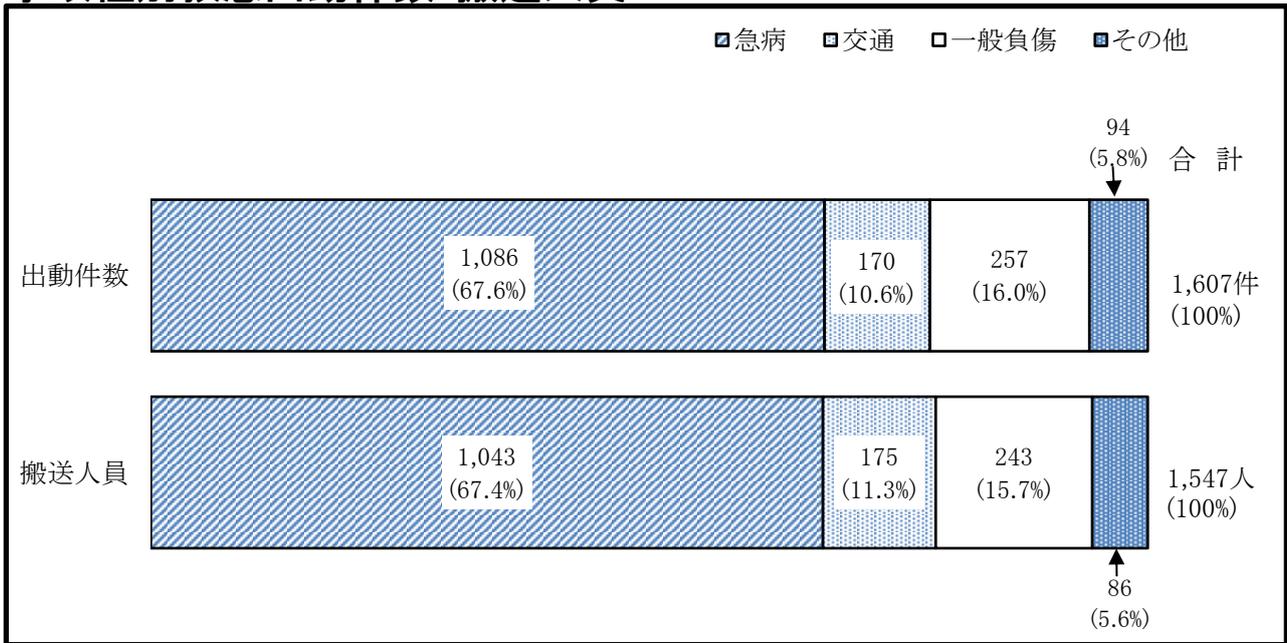
※発生率=救急件数/人口×10,000

※菰野町人口 41,854人(平成30年12月31日現在)

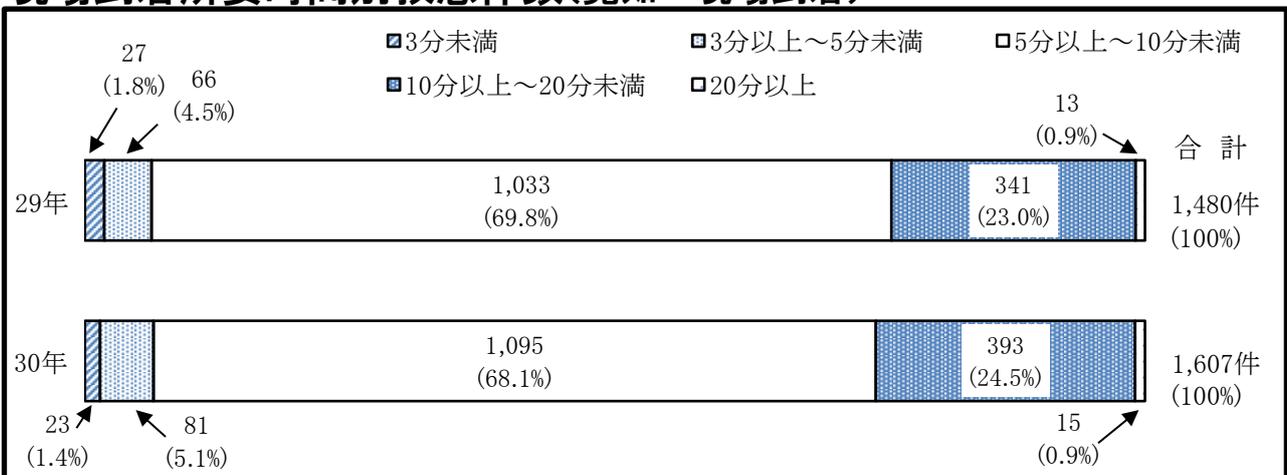
## 過去5年間の救急事故発生状況



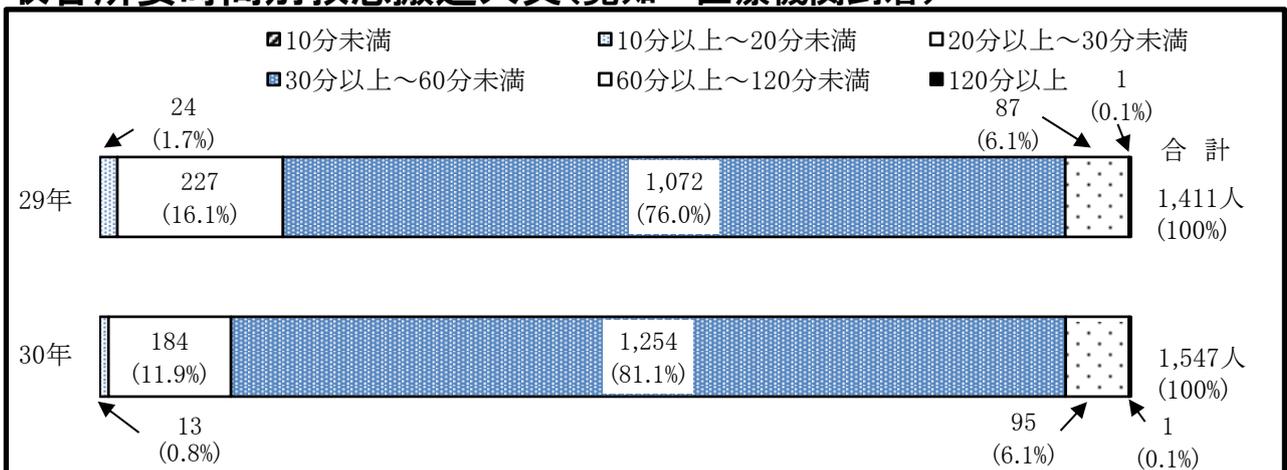
## 事故種別救急出動件数・搬送人員



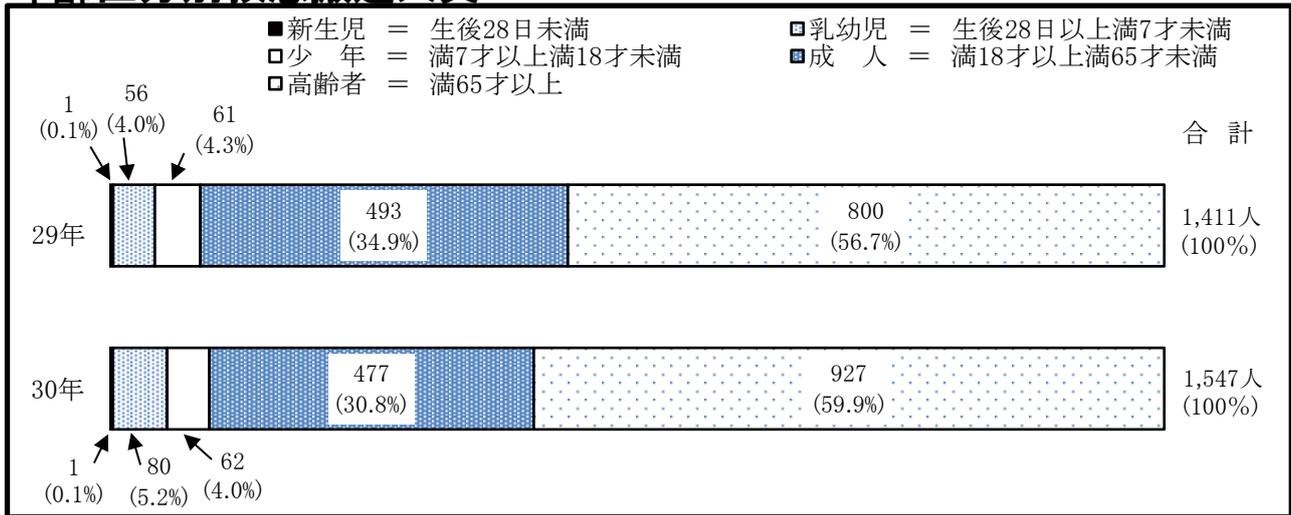
## 現場到着所要時間別救急件数(覚知～現場到着)



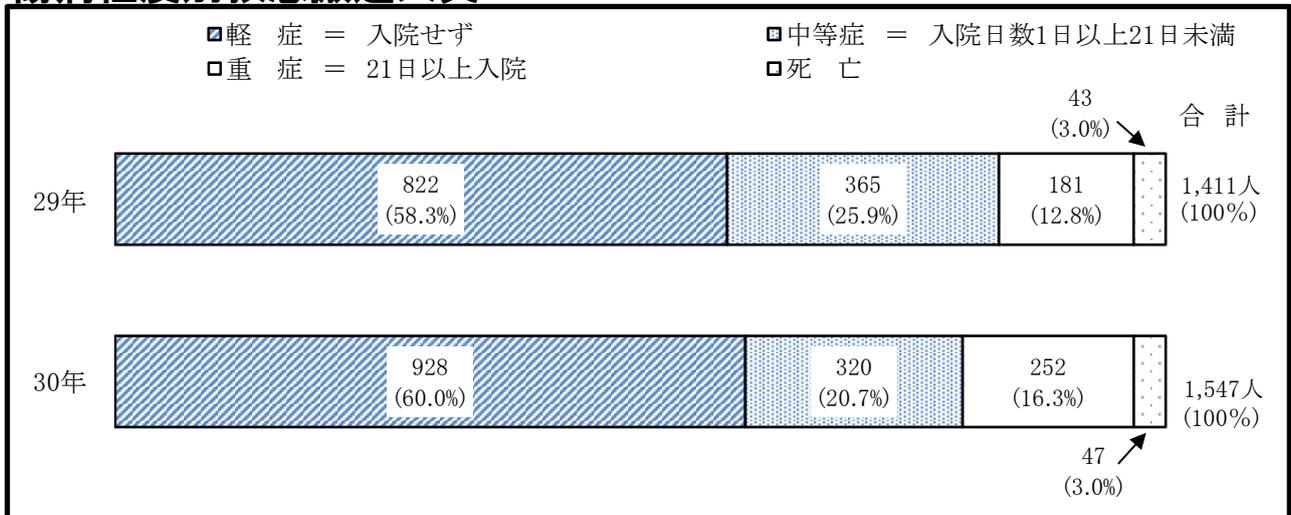
## 収容所要時間別救急搬送人員(覚知～医療機関到着)



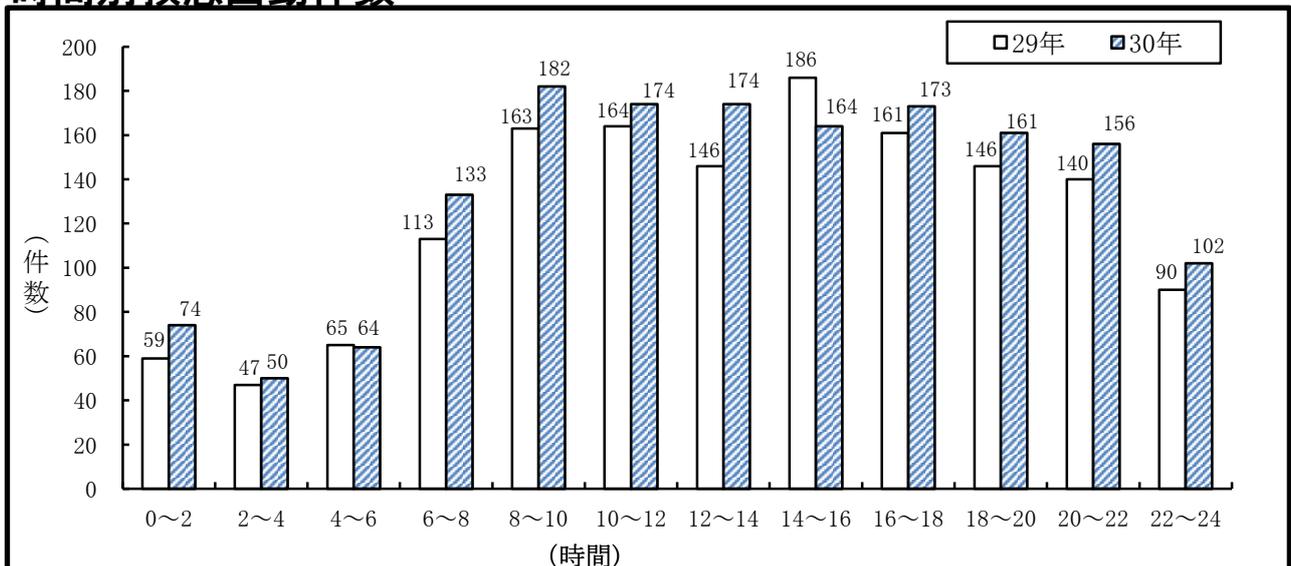
## 年齢区分別救急搬送人員



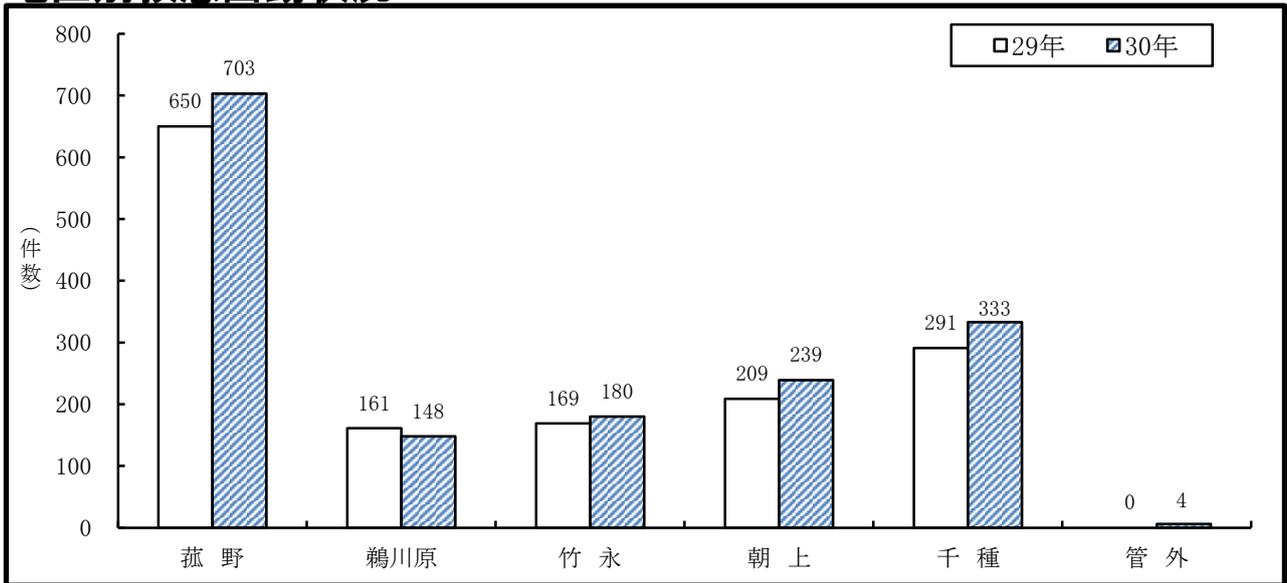
## 傷病程度別救急搬送人員



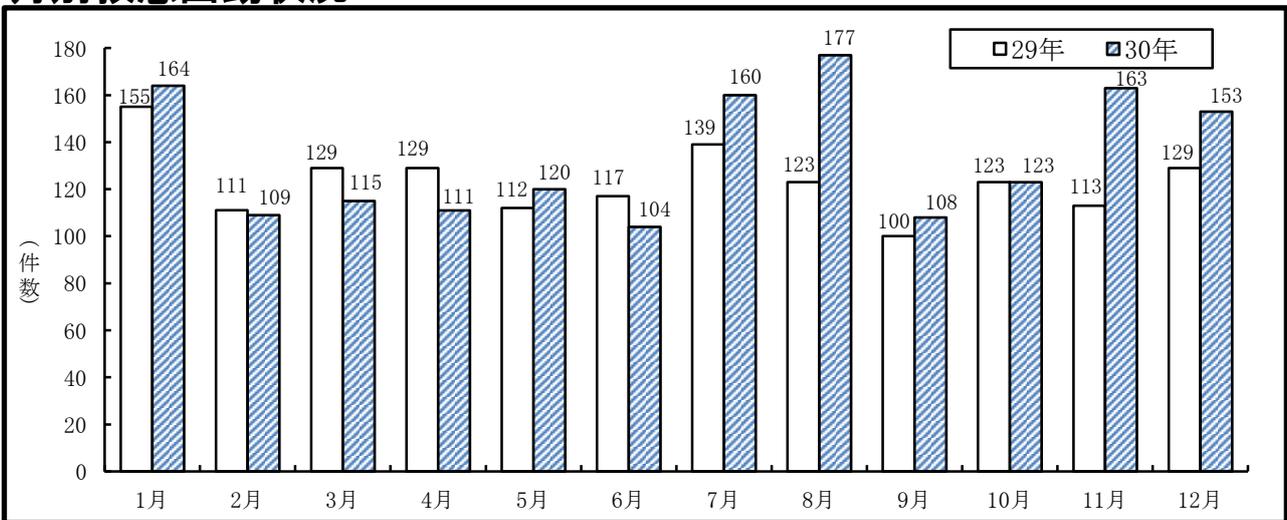
## 時間別救急出動件数



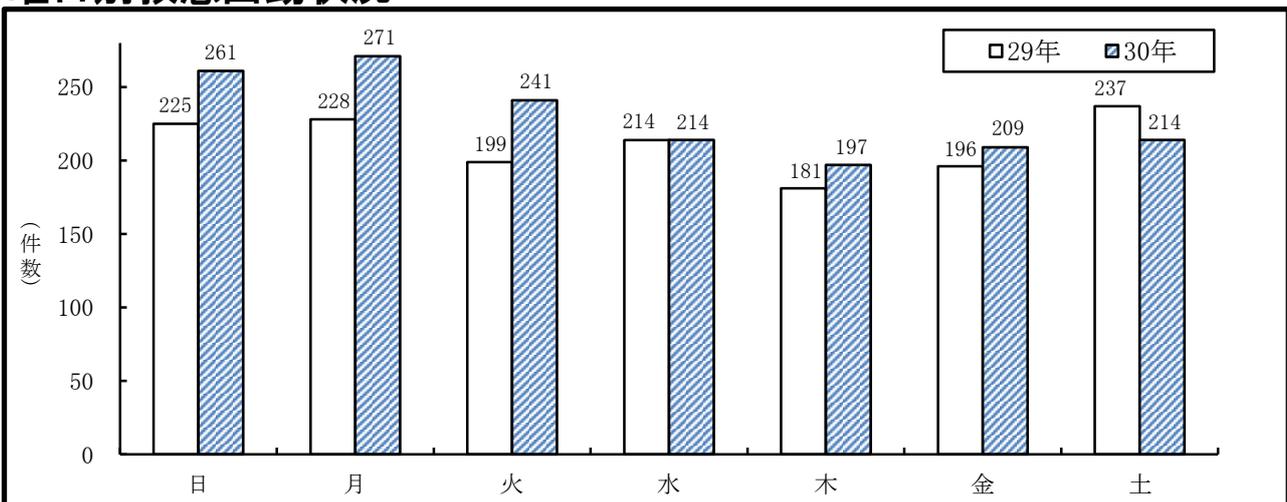
## 地区別救急出動状況



## 月別救急出動状況



## 曜日別救急出動状況



## 年齢区分別、傷病程度別救急搬送人員

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	30年 合計	29年 合計
死亡				4	43	47	43
重症		2	7	58	185	252	181
中等症	1	15	11	67	226	320	365
軽症		63	44	348	473	928	822
その他							
合計	1	80	62	477	927	1,547	1,411

## 事故種別、年齢区分別救急搬送人員

事故種別 年齢区分	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	30年 合計	29年 合計
新生児										1		1	1
乳幼児				7			24			49		80	56
少年				17		5	8		2	29	1	62	61
成人				103	19		51	2	11	176	15	477	493
高齢者				48	1		160		3	688	27	927	800
合計				175	20	5	243	2	16	1,043	43	1,547	1,411

## 事故種別、傷病程度別救急搬送人員

事故種別 傷病程度	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	30年 合計	29年 合計
死亡				1	1		1		3	41		47	43
重症				26	1		42	1	7	155	20	252	181
中等症				24	4	1	41			240	10	320	365
軽症				124	14	4	159	1	6	607	13	928	822
その他													
合計				175	20	5	243	2	16	1,043	43	1,547	1,411

## 事故種別、時間別救急出動件数

区分	事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	30年合計	29年合計
休日					33		3	59	1	5	241	3	345	321
休日以外の日					137	21	2	198	4	15	845	40	1,262	1,159
時間内	0～2				3			10			59	2	74	59
	2～4				3			3			44		50	47
	4～6				1			7		1	55		64	65
	6～8				21	1	1	12		2	96		133	113
	8～10				31	4		25	1	1	119	1	182	163
	10～12				19	7		36		2	100	10	174	164
	12～14				12	2		31		1	115	13	174	146
	14～16				15	3	3	37		5	98	3	164	186
	16～18				36	2	1	34		1	90	9	173	161
	18～20				17	1		22		3	114	4	161	146
	20～22				8	1		31	1	1	113	1	156	140
22～24				4			9	3	3	83		102	90	
30年計				170	21	5	257	5	20	1,086	43	1,607		
29年計		2		1	156	27	10	231	3	7	977	66		1,480

## 事故種別、応急処置件数

事故種別	急病	交通	一般負傷	その他	合計
止血	9	30	68	13	120
固定	16	139	109	17	281
人工呼吸	4			1	5
心肺蘇生	46	2	2	4	54
酸素吸入	292	26	15	18	351
気道確保	70	2	4	7	83
気道確保（特定行為）	2				2
保温	534	78	120	40	772
被覆	9	35	59	14	117
除細動	3	1			4
静脈路確保	38	3	1		42
薬剤投与	23	1	1		25
ブドウ糖投与	4				4
その他	3,520	535	666	269	4,990
合計	4,570	852	1,045	383	6,850

※人工呼吸は単独で行った場合のみ計上。その他は血圧、血中酸素飽和度の測定、聴診器による呼吸音聴取等。

## 事故種別、医療機関別救急搬送人員

告示別等	事故種別		急病		交通		一般負傷		その他		30年合計		29年合計	
	開設別		うち	管外	うち	管外	うち	管外	うち	管外	うち	管外	うち	管外
救急告示医療機関	国立						1	1			1	1	4	4
	公立		667	667	94	94	148	148	62	62	971	971	764	764
	公的		311	62	66	25	85	38	23	13	485	138	546	115
	私的	病院	57	57	15	15	8	8	1	1	81	81	76	72
		診療所												
	計		1,035	786	175	134	242	195	86	76	1,538	1,191	1,390	955
その他の医療機関	国立		1	1							1	1		
	公立													
	公的												1	1
	私的	病院	2	2							2	2	11	11
		診療所	5	3			1				6	3	9	7
	計		8	6			1				9	6	21	19
計	国立		1	1			1	1			2	2	4	4
	公立		667	667	94	94	148	148	62	62	971	971	764	764
	公的		311	62	66	25	85	38	23	13	485	138	547	116
	私的	病院	59	59	15	15	8	8	1	1	83	83	87	83
		診療所	5	3			1				6	3	9	7
	計		1,043	792	175	134	243	195	86	76	1,547	1,197	1,411	974
その他の場所	接骨院等													
	その他													
	計													
30年計			1,043	792	175	134	243	195	86	76	1,547	1,197		
29年計			920	624	157	111	223	147	111	92			1,411	974

## 救助出動状況

平成30年中は、34件の救助出動がありました。当町は面積の約3分の1が山岳地帯で多数の登山者が入山することから山岳救助事案が多く発生しています。（山岳救助件数17件）

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
1	交 通	1月 12日 (金) 10時58分	千 種 (潤 田)	報 知 電 話	
2	交 通	1月 19日 (金) 8時32分	千 種 (潤 田)	報 知 電 話	
3	その他 (山岳)	2月 3日 (土) 16時50分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
4	その他 (山岳)	2月 26日 (月) 16時24分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
5	交 通	4月 4日 (水) 16時08分	鵜川原 (諏 訪)	報 知 電 話	
6	その他 (山岳)	4月 21日 (土) 16時10分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
7	その他 (山岳)	4月 22日 (日) 22時20分	菰 野 (湯の山)	加 入 電 話	
8	その他 (山岳)	4月 28日 (土) 11時53分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
9	交 通	4月 29日 (日) 8時26分	千 種 (千 草)	報 知 電 話	
10	交 通	5月 14日 (月) 6時58分	鵜川原 (吉 沢)	報 知 電 話	
11	その他	5月 22日 (火) 15時19分	朝 上 (田口新田)	報 知 電 話	
12	その他	6月 2日 (土) 12時40分	朝 上 (杉 谷)	報 知 電 話	
13	建 物	6月 3日 (日) 12時29分	菰 野 (宿 野)	報 知 電 話	

※ 報 知 電 話 = 119番 (携帯電話等含む)

加 入 電 話 = 一般加入電話

	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車 救急3号車	4 3 3 3	自動車同士の衝突事故、事故車両1台から1名が脱出困難となった	救急隊と協力してバックボードに固定し車外に救出した
	救助工作車 救急1号車	4 4	自動車同士の衝突事故、事故車両1台から1名が脱出困難となった	救急隊と協力してバックボードに固定し車外に救出した
	広報車	4	御在所岳藤内壁をアイスクライミング中に滑落した	介添え搬送及び背負い搬送にて登山口まで救出した
	広報車	4	雲母峰を下山中に足がつって動けない状態になった	要救助者は自力で東海自然歩道まで下山済みであった為、警察隊に引き継いだ
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	3 2 3	自動車同士の衝突事故、事故車両1台から2名が脱出困難となった	救急隊及び消防隊と協力して車外に救出した
	広報車 救急1号車	4 3	御在所岳表道を下山中に滑落した	介添え搬送にてピックアップポイントまで搬送し、三重県防災航空隊によりヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した
	広報車	4	鎌ヶ岳から武平峠へ下山中に脱水症状で動けない状態となった	要救助者は自力で登山口まで下山済みであった為、甲賀消防救急隊に引き継いだ
	広報車	4	御在所岳中道を登山中に心肺停止状態となった	三重県防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで県立総合医療センターへ搬送した
	救助工作車 救急2号車	4 3	自動車同士の衝突事故、事故車両1台から1名が脱出困難となった	救急隊と協力してバックボードに固定し車外に救出した
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	3 2 3	自動車同士の衝突事故、事故車両1台から1名が脱出困難となった	救急隊と協力してバックボードに固定し車外に救出した
	救助工作車 救急2号車	3 3	救急要請のあった傷病者が暴れており、活動危険がある	救急隊から救助隊の必要性なしの連絡があった為、途中帰署した
	救助工作車 救急1号車	4 3	作業中、沢の傍らの斜面で持病により動けない状態となった	救急隊と協力して徒手搬送にて平坦な場所まで救出した
	救助工作車 救急1号車	4 3	店舗出入口のドアに指を挟まれ、解放できない	救急隊から救助隊の必要性なしの連絡があった為、途中帰署した

## 救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
14	その他 (山岳)	6月 8日 (金) 18時59分	菰野 (湯の山)	加入電話	
15	交通	6月 9日 (土) 7時02分	朝上 (田光)	報知電話	
16	交通	6月 12日 (火) 7時58分	鵜川原 (川北)	報知電話	
17	その他 (山岳)	6月 12日 (火) 13時53分	菰野 (湯の山)	報知電話	
18	その他 (山岳)	6月 17日 (日) 15時14分	朝上 (杉谷)	加入電話	
19	その他 (山岳)	7月 21日 (土) 18時27分	菰野 (湯の山)	報知電話	
20	交通	8月 8日 (水) 17時49分	菰野 (菰野第二区)	報知電話	
21	その他 (山岳)	8月 20日 (月) 13時30分	菰野 (湯の山)	加入電話	
22	交通	9月 11日 (火) 17時40分	千種 (潤田)	加入電話	
23	その他 (山岳)	10月 10日 (水) 15時38分	千種 (千草)	加入電話	
24	その他 (山岳)	10月 11日 (木) 5時35分	管外 (滋賀県東近江市)	加入電話	
25	交通	10月 17日 (水) 22時06分	鵜川原 (下村)	加入電話	
26	その他 (山岳)	10月 21日 (日) 12時54分	菰野 (湯の山)	加入電話	
27	その他 (山岳)	10月 22日 (月) 8時03分	菰野 (湯の山)	報知電話	

※ 報知電話 = 119番 (携帯電話等含む)  
 加入電話 = 一般加入電話

出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
広報車	4	鎌ヶ岳長石谷を下山中に疲労で動けない状態となった	介添え搬送にて登山口まで救出した
救助工作車 救急2号車 救急3号車	3 3 3	自動車同士の衝突事故、事故車両1台から1名が脱出困難となった	救急隊と協力して車外に救出した
救助工作車 救急1号車	4 3	自動車同士の衝突事故、事故車両1台から1名が脱出困難となった	既に車外に脱出済みであった
広報車	4	御在所岳裏道を下山中に全身の痺れで動けない状態となった	自力歩行可能であったため、誘導により登山口まで救出した
広報車	4	釈迦ヶ岳岩ヶ峰登山道で滑落した	三重県防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで県立総合医療センターへ搬送した
広報車 救急1号車	2 3	日向小屋にて腹痛で動けない状態となった	救急隊と協力して担架収容し、救急車まで搬送した
救助工作車 救急1号車	4 3	自動車同士の衝突事故、事故車両1台から1名が脱出困難となった	先着していた救急隊により車外に救出した
広報車 救急1号車	4 3	御在所岳裏道を下山中に滑落した	三重県防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで県立総合医療センターへ搬送した
救助工作車 救急2号車 救急3号車	2 3 3	自動車同士の衝突事故、傷病者が車内から脱出困難となった	先着していた救急隊により車外に救出した
指揮車 広報車	3 4	釈迦ヶ岳尾根道白滝谷分岐付近で遭難した	捜索したが要救助者を発見できなかった(翌日朝から再捜索)
広報車	4	釈迦ヶ岳白滝谷分岐付近で遭難し、衰弱により動けない状態となった(昨日からの再捜索)	滋賀県東近江消防及び警察隊と合同捜索し、発見後、三重県防災航空隊によりヘリコプターで県立総合医療センターへ搬送した
救助工作車 ポンプ車 救急1号車 救急2号車	3 2 3 3	自動車同士の衝突事故、事故車両1台から1名が脱出困難となった	救急隊及び消防隊と協力してバックボードに固定し車外に救出した
広報車	4	御在所岳藤内壁をクライミング中に首を負傷し、動けない状態となった	山岳連盟と協力して担架でピックアップポイントまで搬送し、三重県防災航空隊によりヘリコプターで県立総合医療センターへ搬送した
広報車	4	御在所岳武平峠付近で遭難し、衰弱により動けない状態となった	三重県防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した

## 救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
28	その他 (山岳)	10月 28日 (日) 9時41分	千 種 (千 草)	報 知 電 話	
29	その他 (山岳)	10月 28日 (日) 11時34分	千 種 (千 草)	報 知 電 話	
30	交 通	11月 1日 (木) 18時38分	千 種 (千 草)	報 知 電 話	
31	その他 (山岳)	11月 4日 (日) 7時44分	菰 野 (湯の山)	加 入 電 話	
32	交 通	11月 25日 (日) 8時51分	千 種 (潤 田)	報 知 電 話	
33	建 物	11月 25日 (日) 22時20分	菰 野 (菰野第三区)	報 知 電 話	
34	交 通	12月 29日 (土) 10時26分	鶺川原 (下 村)	報 知 電 話	

※ 報 知 電 話 = 119番 (携帯電話等含む)  
 加 入 電 話 = 一般加入電話

	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	広報車	4	釈迦ヶ岳庵座谷を登山中に滑落した	担架でピックアップポイントまで搬送し、三重県防災航空隊によりヘリコプターで県立総合医療センターへ搬送した
	広報車	4	釈迦ヶ岳中尾根を登山中に滑落した	三重県防災航空隊によりヘリコプターで県立総合医療センターへ搬送した
	救助工作車 救急1号車 救急2号車	4 3 3	自動車同士の衝突事故、事故車両1台から3名が脱出困難となった	救急隊と協力してバックボードに固定し1名、自力歩行にて2名車外に救出した
	広報車 救急1号車	4 3	御在所岳裏道を下山中に左足首を捻り、動けない状態となった	介添え搬送にて登山口まで救出した
	救助工作車 救急2号車 救急3号車	2 3 3	自動車同士の衝突事故、事故車両1台から2名が脱出困難となった	バックボードに固定し1名、自力歩行にて1名車外に救出した
	救助工作車 救急2号車	2 3	浴室の扉が開かず、閉じ込められている	扉を破壊して救出した
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	3 2 3	自動車同士の衝突事故、事故車両1台から2名が脱出困難となった	バックボードに固定し1名、自力歩行にて1名車外に救出した

## 事故種別出動件数・救助人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	30 年 合 計	29 年 合 計
	建 物	他										
出 動 件 数			13				2			19	34	39
救 助 人 員			17				1			15	31	24

※管轄外の出動件数含む

## 事故種別、救助出動人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	30 年 合 計	29 年 合 計
	建 物	他										
救 助 隊 員			43				6			76	125	186
消 防 隊 員			11								11	7
救 急 隊 員			58				6			18	82	55
合 計			112				12			94	218	248

## 事故種別、救助出動車両

種別 車両	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	30 年 合 計	29 年 合 計
	建 物	他										
救 助 工 作 車			13				2			2	17	15
タ ン ク 車												
ポ ン プ 車			5								5	5
救 急 車			19				2			6	27	23
指 揮 車										1	1	
広 報 車										17	17	23
資 機 材 搬 送 車												3
そ の 他 の 車 両												3
合 計			37				4			26	67	72

※その他の車両とは、査察車と防災広報車

# 気象、通信、その他



昨今の異常気象による豪雨等の被害を軽減するため、菰野町では毎年水防訓練を実施しています。関係機関などが合同で行う積み土のう工法その他、身近な物を利用する簡易な工法の訓練も行いました。

まずは各家庭で事前に対応することで浸水を防ぎ被害を軽減する事ができます。

菰野町水防訓練

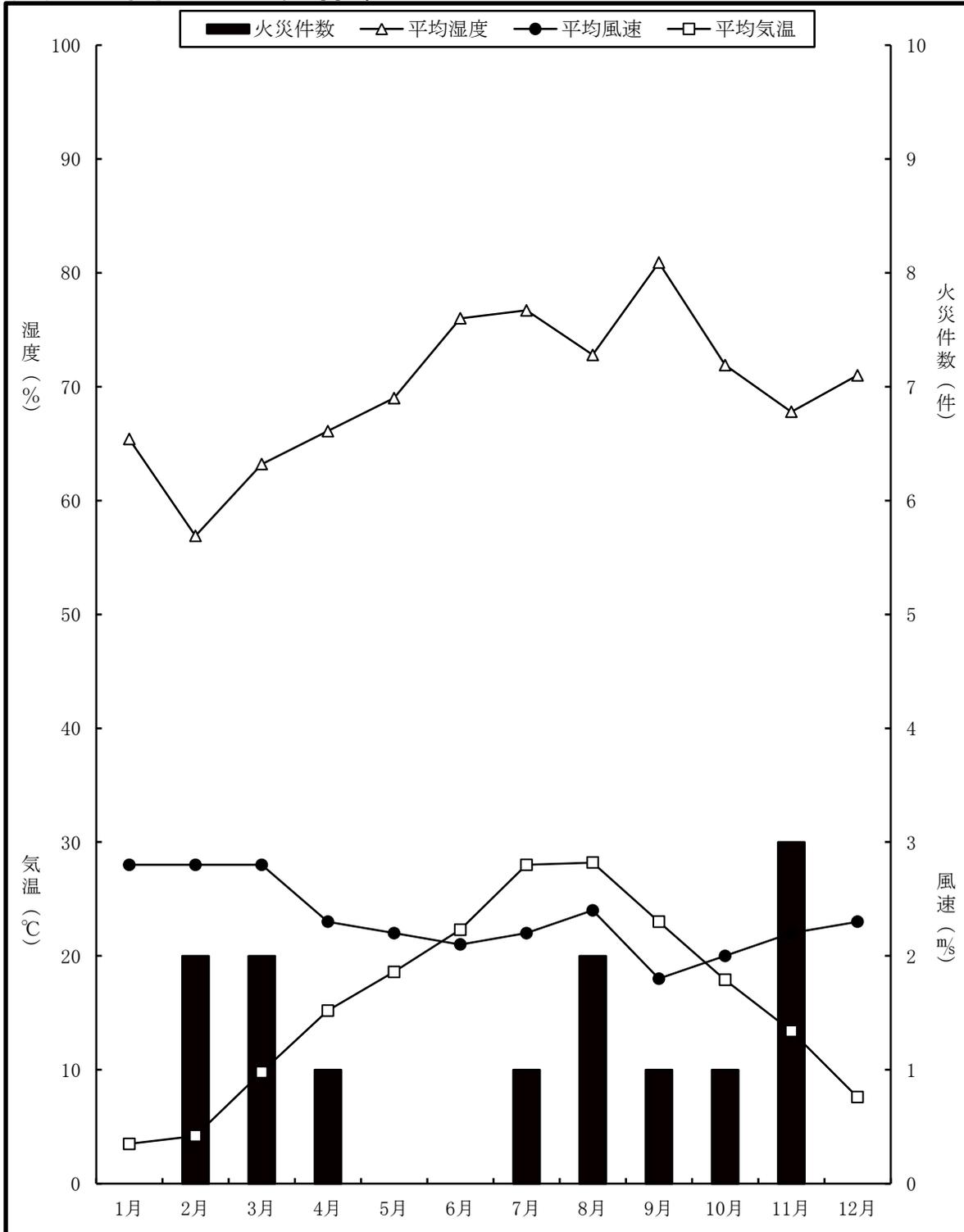
平成30年5月27日

於：菰野町役場庁舎南 三滝川河川敷

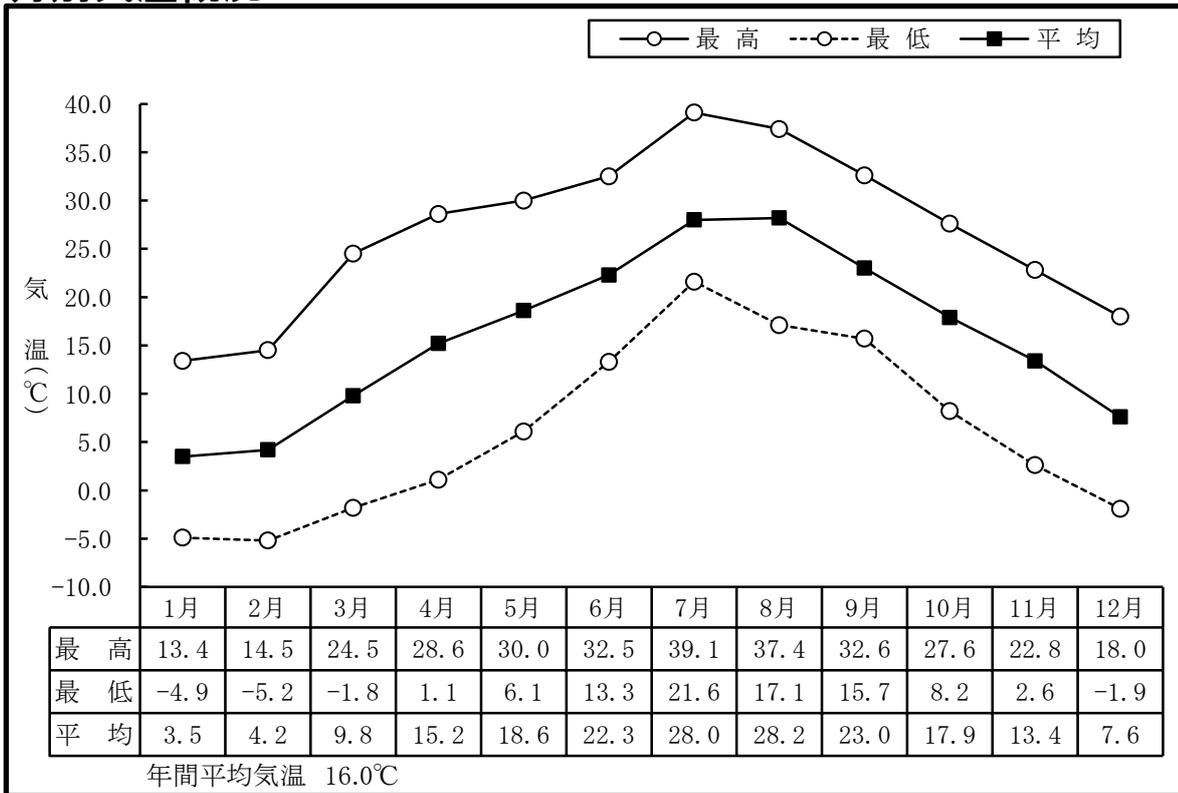
# 気象

開署以来、気象観測システムによる1時間毎の自動定時観測（風速・気温・湿度・降水量等）を行い日報・月報記録の作成を続けています。また台風、豪雨や警報発表時には定時以外においても必要に応じた観測体制をとっています。

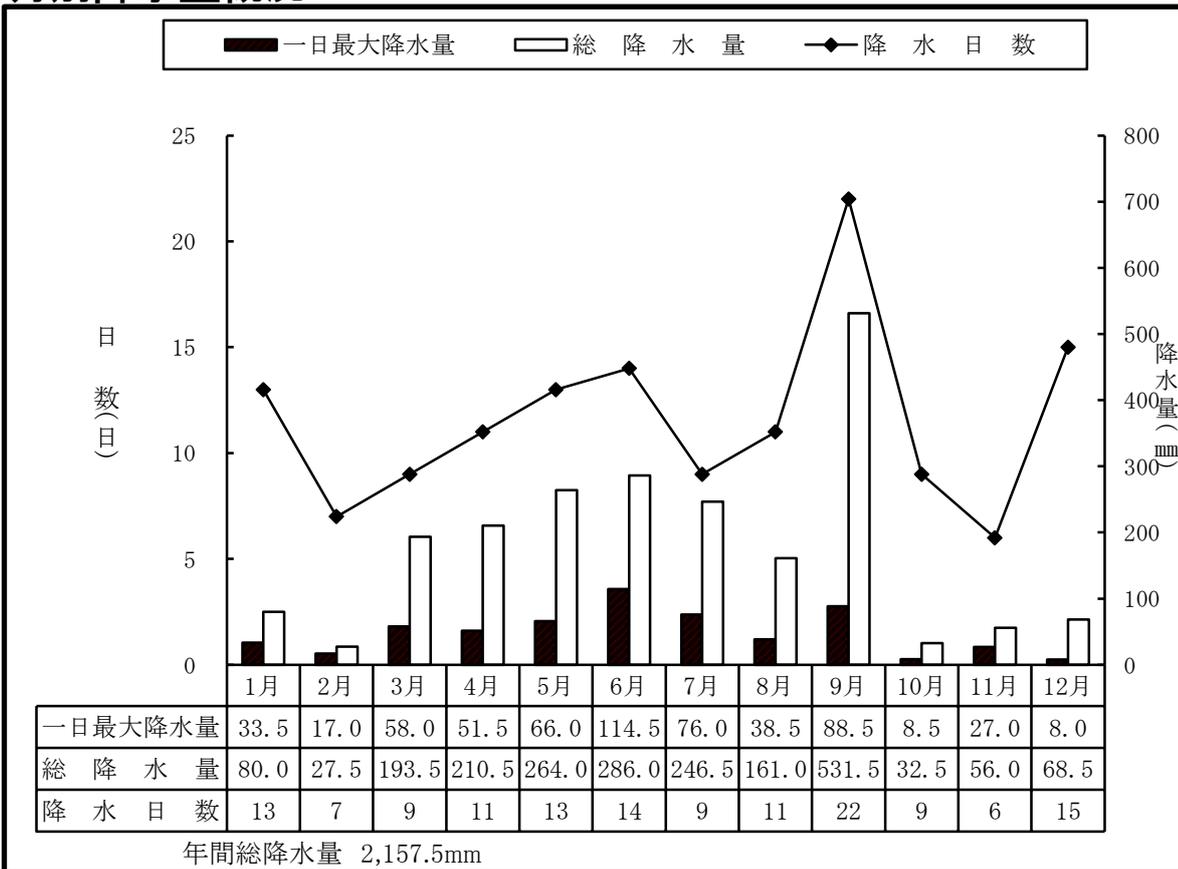
## 月別気象状況と火災件数



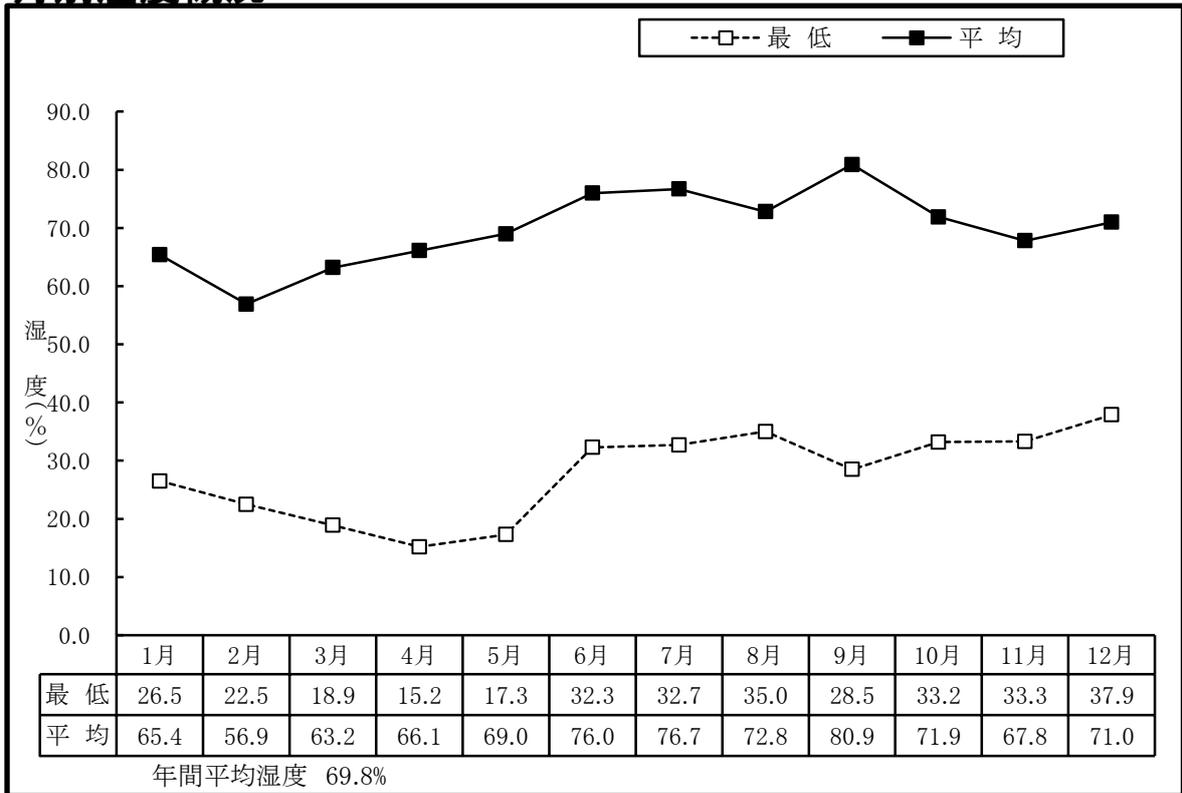
## 月別気温概況



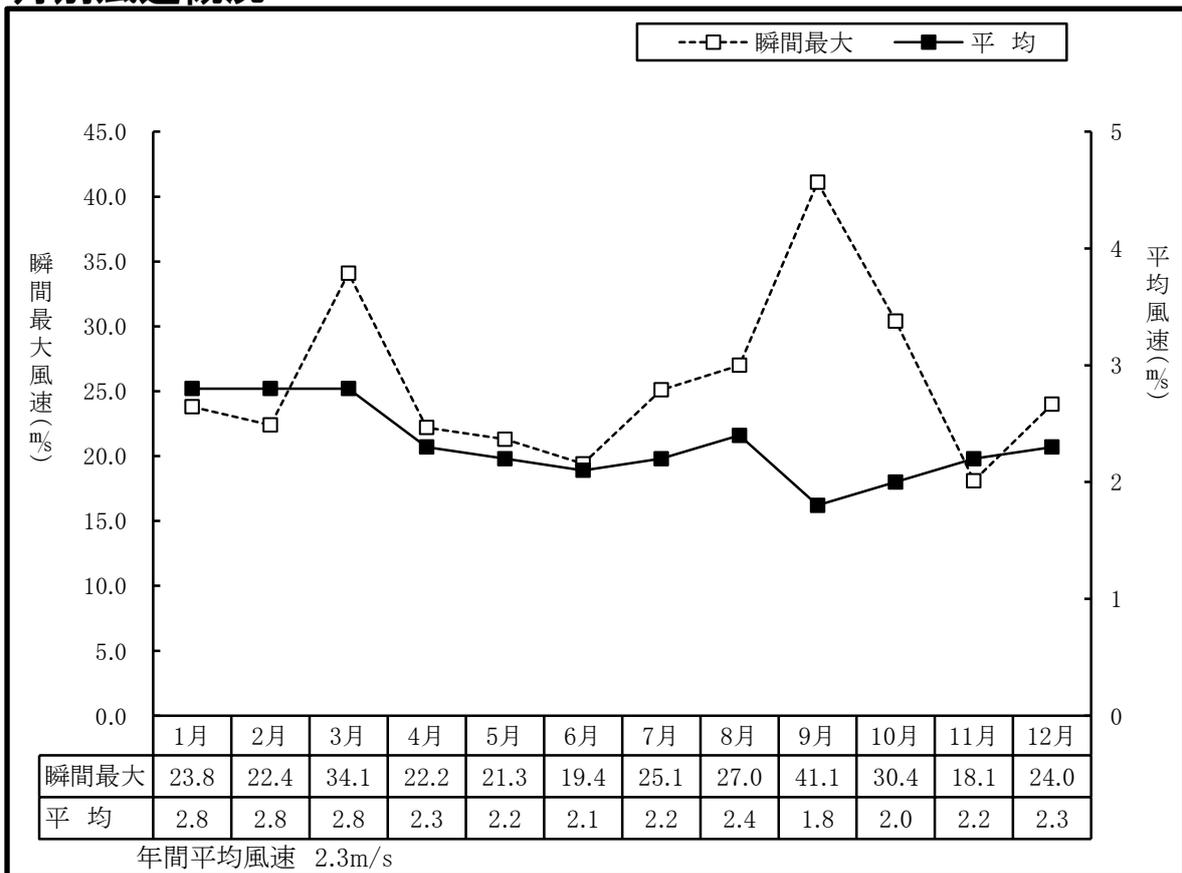
## 月別降水量概況



## 月別湿度概況



## 月別風速概況



# 気象通報受信状況

気象通報			月 別												合計		
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
特別警報	気象特別警報	暴風															
	特別警報	暴風															
	大	大雨															
	大	大雪															
警報	気象警報	暴風								1		2				3	
	警報	暴風															
	大	大雨								3	1	3				7	
	大	大雪	1													1	
注意報	気象注意報	大雨					2	2	11	4	6	2				27	
	注意報	大雪	2	2											1	5	
	注意報	風雪															
	注意報	雷	2	1	2	6	6	9	15	10	6	6	3	1		67	
	注意報	強風	3	2	4		1		1	1	3					15	
	注意報	融雪															
	注意報	濃霧	1			1	2	1	1		1	4	2	4		17	
	注意報	乾	1	8	4	1	1									15	
	注意報	なだれ															
	注意報	低温	9	8													17
	注意報	霜			16	3	1										20
	注意報	着氷															
	注意報	着雪	1														1
注意報	洪水									1	2					3	
高温注意情報								1	17	22						40	
竜巻注意情報					1			3	3	8	15		2	1		33	
火災気象通報			4	14	10	1	2									31	
気象情報	雪に関する情報		3												2	5	
	大雪に関する情報		14	7											4	25	
	強風と高波に関する情報			1												1	
	高波と強風及び雷に関する情報			2	1											3	
	雷と突風に関する情報				1	2	7	7		1		5	3	2		28	
	強風と雷及び突風に関する情報				3											3	
	高波と雷及び突風に関する情報				2											2	
	大雨と高波及び雷に関する情報				2											2	
	高波と強風に関する情報				3											3	
	大雨と高波及び強風に関する情報				2											2	
	大雨に関する情報						2	7	2		8		2			21	
	大雨と雷及び突風に関する情報							3	18	10	16	1	1			49	
	雷と突風及び降ひょうに関する情報								3	1	4					8	
	台風第12号に関する情報								10							10	
	台風第20号に関する情報									11						11	
高波と大雨及び雷に関する情報									3						3		
台風第21号に関する情報										10					10		
台風第24号に関する情報										10	2				12		
土砂災害警戒情報(菰野町)																	

注1) 同一種類の注意報・警報を継続する場合に発表された注意報・警報は回数に含めない。  
 注2) 注意情報及び、気象情報については三重県を対象に発表された回数を示す。  
 注3) 火災気象通報は、三重県北部を対象に発表された回数を示す。  
 注4) 特別警報・警報・注意報・土砂災害警戒情報は、菰野町を対象に発表された回数を示す。

## 通信指令

菰野町と四日市市、桑名市の3消防本部は、平成28年4月1日から 四日市市、桑名市及び三重郡菰野町消防通信指令事務協議会を設置して、四日市市消防本部中消防署中央分署内に三重北消防指令センターを整備し、消防通信指令事務の共同運用を行っています。

## 三重北消防指令センター119番通報受付取扱状況

平成30年中

種別 消防本部	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	FAX 119	合計
菰野町	16	1,586	19	30	7	140	202	199	9		2,208
四日市市	200	15,529	53	313	105	1,733	1,727	2,042	168	1	21,871
桑名市	139	9,349	46	174	29	1,011	1,016	1,300	93		13,157
合計	355	26,464	118	517	141	2,884	2,945	3,541	270	1	37,236

※通報は重複通報含む。

## 菰野町消防本部管内月別119番通報受付取扱状況

平成30年中

種別 月	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	FAX 119	合計
1		155	1	2		4	8	20	1		191
2	2	109	1	1		5	32	17			167
3	1	117		1		13	27	11			170
4	2	118	3	1	6	13	11	18	1		173
5		124	1	1		14	17	14			171
6		99	2	2		14	9	22			148
7	1	160	1	6		18	14	25	1		226
8	2	167	2	4		10	10	21	1		217
9	1	110				11	17	18	3		160
10	1	117	2	5	1	8	21	7			162
11	3	162	6	5		16	22	15	1		230
12	3	148		2		14	14	11	1		193
合計	16	1,586	19	30	7	140	202	199	9		2,208

## 菰野町消防本部管内回線別119番通報受付取扱状況

平成30年中

種別 回線	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練 試験	問合せ	転送	FAX 119	合計
固定電話	1	390		7	4	26	161	34	1		624
IP電話	4	467	1	3	1	25	31	49			581
携帯電話	11	729	18	20	2	89	10	116	8		1,003
合計	16	1,586	19	30	7	140	202	199	9		2,208

## 災害件数の推移

年	区分	火災 (件)	救急 (件)	救助 (件)	人口 (人)
昭和 60 年		11	308	3	31,099
昭和 61 年		23	442	3	31,546
昭和 62 年		15	434	7	31,949
昭和 63 年		15	497	9	32,218
平成 元年		13	569	12	32,443
平成 2 年		9	595	6	32,942
平成 3 年		17	573	6	33,504
平成 4 年		13	558	8	33,902
平成 5 年		6	641	10	34,362
平成 6 年		15	684	10	35,137
平成 7 年		23	694	17	36,036
平成 8 年		30	779	11	36,801
平成 9 年		36	684	12	37,402
平成 10 年		18	705	19	37,785
平成 11 年		21	746	16	38,229
平成 12 年		18	895	23	38,713
平成 13 年		25	995	19	38,939
平成 14 年		21	1,018	9	39,074
平成 15 年		23	1,096	28	39,155
平成 16 年		12	1,091	29	39,494
平成 17 年		23	1,195	33	39,989
平成 18 年		20	1,187	21	40,274
平成 19 年		21	1,248	21	40,550
平成 20 年		19	1,266	23	40,784
平成 21 年		16	1,208	25	40,977
平成 22 年		15	1,242	32	41,025
平成 23 年		9	1,360	22	41,171
平成 24 年		17	1,396	24	41,311
平成 25 年		22	1,473	17	41,329
平成 26 年		19	1,451	19	41,419
平成 27 年		12	1,433	32	41,540
平成 28 年		14	1,452	36	41,803
平成 29 年		20	1,480	39	41,820
平成 30 年		13	1,607	34	41,738

※昭和60年の災害件数は消防本部発足（4月1日）からの数値

※人口は年度末の数値

令和元年版  
消 防 年 報

発 行 日 令和元年 8月

編集・発行 菰野町消防本部

〒510-1253

三重県三重郡菰野町大字潤田4418番地

電 話 (059) 394-3211

F A X (059) 394-5766

E-mail [komonofd@m3.cty-net.ne.jp](mailto:komonofd@m3.cty-net.ne.jp)